

玉翠会報

(第 43 号)

発行所 高松市番町二二
高松高等学校内
香川県立高松高等学校玉翠会
発行 間 島 賢 治
責任者 間 島 賢 治
印刷所 石田印刷(有)



ご挨拶

玉翠会会長 間島賢治

新型コロナウイルスの影響が依然として継続しており、不便な生活をお送りのことと存じます。過去の歴史を振り返ればそろそろ収束を願うばかりです。

さて、本年五月二十八日に高松高校玉翠会館にて開催されました玉翠会総会で会長に就任いたしました昭和四十七年卒業の間島賢治です。伝統ある玉翠会の会長は、榎田前会長はじめ名立たる先輩がお務めになられており、その後をお引き受けすることになり、私で本当に良いのかと改めて身の引き締まる思いです。思い返せば三十歳前に東京から帰省し、高校時代の恩師(故松野先生)にお声がけいただき、玉翠会の九十周年事業の一員としてお手伝いをさせていただいたのが契機で、現在に至っています。また、副会長も二名が交代され、新体制にて運営させていただきます。高松高校の新入生も二八二人と我々の時代から考えると半数以下です。少子高齢化は一段と進んでおり、伝統ある「玉翠会」を将来に

亘り次世代に引き継げるように心がけて運営をしてまいります。今後とも皆様方のご支援、ご指導を賜りますようしくお願い申し上げます。

さて、高松高校は来年一三〇周年を迎えることになりました。香川県立高等学校としての行事は来年計画される予定です。玉翠会としての祝賀会は、依然としてコロナ禍でもあり再来年に開催する予定です。その折には久しぶりに同期の同窓会を二次会として開催いただき、地域を盛り上げてください。

ふるさと香川は「素晴らしいまち」だと思いつつ、サンポート高松エリアをウォーキングしています。これからの再開発にご期待ください。

最後になりますが、来年こそはリアルな総会・懇親会が各地の玉翠会で開催されることを祈念し、また、会員皆様の益々のご健勝、ご多幸をお祈り申し上げご挨拶とさせていただきます。



去るに当たって

玉翠会前会長 榎田 實

今年の五月の「玉翠会」総会で会長職を昭和四十七年(一九七二年)卒の間島さんにバトンタッチとなりました。振り返りますと平成二十六年(二〇一四年)に前会長大西大介氏より「会員が五万人を超える玉翠会の会長職に」とお声がけを頂いた時には、在学中も出来が悪く、勉強との縁が薄いように思えた私に果たして務める事が出来るのか、又、会員皆様のご支持を得られるのかと心配致しましたが、私本人が知る限りですが、つつがなく無事終了する事ができ、安堵の気持ちで一杯です。これも偏に、歴代校長先生をはじめとする教職員の皆様、事務局、副会長、そして、理事、代議員、会員皆様のご協力ご援助の賜物と感謝の思いです。

ものが込み上げてきて、目頭が熱くなり、他の機会では味わえない特別な気持ちにさせてくれました。

今日、地球温暖化、少子高齢化、グローバルな市場競争、情報の多様化等、この八年間で世の中は大きく変化前進しました。近況では、コロナ禍、ロシアのウクライナ侵略、中国の抬頭等、以前の我々の常識経験では、考えられない事が、凄スピードで世の中に起っています。この先、これらの問題がいつになったら解決するのやら、いつまで我慢すれば良いのやら見通しが立ちません。早期に解決して、平和な時代が訪れる様、願うばかりです。

特に東京、関西、岡山、徳島、東海の各地に赴き各玉翠会の総会に参加させて頂き、各地の香川出身の方々との交流を深めることが出来ました事が、強く印象に残っております。又、コロナ禍の影響で「同窓会オンライン開催」も始まり、同窓会の新しい在り方や管理の方法も見えて来たかと思えます。そして、卒業証書授与式、各玉翠会総会等で、校歌斉唱時には歳のせいか毎回胸に熱い

これからの時代、間島会長を中心に、少し若返った新組織で伝統在る、「至誠一貫」「雪持ち笹」「独立自主」の気高い精神の下、玉翠会の改革改善を推し進めて頂ける事と思います。そして、来年の一三〇周年記念行事が無事に終了して、更に、一四〇周年、一五〇周年に向けて高松高等学校玉翠会が益々発展します事、そして在校生、卒業生、教職員の皆様のご健勝を祈念致しまして、お礼とさせていただきます。八年間有難うございました。



ご挨拶

高松高等学校長 中 筋 功 雄

いよいよ盛夏を間近に控える頃、玉翠会員の皆様には益々清祥のこととお慶び申し上げます。また、平素より本校の教育諸活動に並々ならぬご理解とご支援を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、皆様ご承知のとおり本校の源流は、香川県尋常中学校と香川県高等女学校に求めることができますが、明治二十六年に両校が設立されてから今年ちょうど一三〇年目となります。過去の慣例に沿って来年度に周年行事を催す方向で、すでに間島玉翠会会長をはじめ皆様と協議を始めております。同窓会が主体となつて行う本校の周年行事は他校にはあまり例のないもので、玉翠会員の皆様は本校に対する愛情の象徴的一場面であると感謝申し上げる次第です。今回もこれまでと同様に玉翠会の強力な応援のもとで周年行事をさせていただくこととなります。会員の皆様には何卒、ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

ただ、時代の流れの中で社会変革の波は激しさを増しており、情報通信機器の発展によるデジタル化を筆頭に、不易流行とされたもののなかにも大なり小なりの変化をもたらしています。本校の周年行事に関しまして、新しい時代に合った新しい内容を探っていくつもりです。校内では教頭を総括とした実行

委員会を立ち上げており、『一三〇周年記念誌』の発刊、シンボルマークの作成などの準備を始めています。また、来年度の文化祭は記念文化祭として開催する予定です。

一方で、新型コロナウイルス感染症の終息状況はまだ先が見通せないため、記念の祝賀会は思い切つて令和六年度まで開催を遅らせると間島会長からは伺っております。ちなみに、今年度五月に予定されていた高松市中央公園での高松大懇親会は今回も中止となりましたし、七月の東京玉翠会は二年続きでオンライン開催となりました。私自身、昨年度校長として着任して以来、会員の皆様と直接にお会いして様々な情報交換などをさせていただく場は、一体いつになったら実現するのやらと歯噛みするところです。

本校の教育活動も相変わらずコロナの影響下で進められています。マスクの着用や昼食時の黙食などとも当たり前となりつつあり、すでに「ウィズコロナ」なのかもしれません。しかし、部活動に時間制限があるとか、文化祭や体育祭は非公開とか、そんな足枷付きの学校運営が当たり前になりつつあることには忸怩たる思いです。自由と愛の血に燃ゆる生徒諸君が真理の道を究めゆくべく澁渌と挙る姿を、マスクやパーティションといった制限なしに堪能できる日が、一日も早く来るよう

祈るばかりです。

終わりになりますが、玉翠会の益々のご盛会並びに会員各位の今後のご健勝をお祈りし、

八年間を振り返って

玉翠会前副会長 牟 禮 明

(昭和四十一年卒)

平成二十六年、大先輩の今澤暉子様(昭二十七年卒)の後任として、身の程も考えずにお役をお引き受けいたしました。その時、会の重鎮脇和子様(晩翠昭十九年卒)が副会長としていらして、何かとご指導頂き三年間を一緒に過ごさせていただきました。

在任期間最後の二年間はコロナ禍で全支部総会が中止(一部オンライン開催)、学校行事も在校生中心の開催となったため、何のお役にも立てないままの退任となり、心苦しく思っております。

私は会員としての支部総会にも参加した経験がなく、着任後初めての東京玉翠会に出席した折の驚きは今も心に強く残っております。千人近くの間窓生が一堂に会し、皆さんの熱い母校愛に圧倒され通して、私自身の母校への想いは?と自問自答した瞬間でもありました。その他の支部総会でも皆さんの母校への熱い想いはひしひしと伝わり、温かく迎え入れていただきました。

毎年十二月開催の第九演奏会は、たいへん楽しみにしていました行事でした。また、文

あわせて本校への変わらぬご厚情を賜りますようお願いを申し上げ、ご挨拶といたします。

化祭では現高生高生の物事に真摯に向き合っている姿、独創的な発想の展示物を見ることができ、六十年近く前の記憶と重なる部分もあり、懐かしい思いで拝見いたしました。先生方はじめ会員の皆様の温かいお力添えに対し、心よりお礼と感謝を申し上げます。これからも皆様と共に母校愛を育んで参ることができればと思っております。



退任の挨拶

令和4年度 玉翠会事業計画

| 月 | 日 | 曜 | 事 業 名 | 会 場 |
|----------------|-------|-----|---|--------------|
| 4 | 12 | 火 | 会計監査 | 5 階会議室 |
| 4 | 25 | 月 | 玉翠会 会長・副会長会 | 1 階会議室 |
| 5 | 28 | 土 | 玉翠会 教育基金運営委員会 | 5 階会議室 |
| | | | 玉翠会 理事会・代議員会 | 5 階玉翠ホール |
| 中 止 | | | 玉翠会 高松懇親会 | |
| 中 止 | | | 徳島玉翠会総会 | |
| 7 | 8 | 金 | 第1回玉翠グローバルアカデミー(GGA) H11卒 小河恵理氏（字幕翻訳家） | 体育館（非公開） |
| 7 | 9 | 土 | 玉翠会報 第43号発行 | |
| 7 | 9 | 土 | 東京玉翠会総会 | オンライン開催 |
| 9 | 10・11 | 土・日 | 文化祭（玉翠庵お休み処：H 6 卒主管） | 高松高校 |
| 9 | 17 | 土 | 東海玉翠会総会 | 名鉄グランドホテル |
| 10 | 9 | 日 | 関西玉翠会総会 | ザ・リッツカールトン大阪 |
| 10 or 11 | 未定 | | 第2回玉翠グローバルアカデミー(GGA)先輩講演会 S58卒 大内淑代氏 （岡山大学大学院教授） | |
| 11 | 20 | 日 | 岡山玉翠会総会 | アークホテル岡山 |
| 2 | 未定 | | 玉翠会 会長・副会長会 | |
| 3 | 3 | 金 | 卒業式 | 体育館 |

創立130周年記念事業準備委員会

※現在開催予定の行事につきましても、新型コロナウイルスの関係で中止・延期となる場合があります。

令和4年度 玉翠会会計収支予算書

〈収入の部〉

| 科 目 | 金 額 |
|-------------|-----------|
| 玉 翠 会 会 費 | 7,800,000 |
| 玉 翠 会 入 会 金 | 950,200 |
| 受 取 利 息 | 0 |
| 雑 収 入 | 0 |
| 収 入 の 部 合 計 | 8,750,200 |

〈支出の部〉

| 費 目 | 金 額 |
|----------------------|-------------|
| 本 部 運 営 費 | 4,530,000 |
| 支 部 運 営 費 | 1,300,000 |
| 卒 業 生 記 念 品 料 | 130,000 |
| 退職積立預金繰入支出 | 200,000 |
| 創立百周年記念玉翠会教育基金会計繰入支出 | 2,000,000 |
| 創立130周年記念行事準備金 | 1,500,000 |
| 予 備 費 | 300,000 |
| 支 出 の 部 合 計 | 9,960,000 |
| 当年度収支差額 | △ 1,209,800 |
| 前年度収支差額 | 31,657,032 |
| 次年度収支差額 | 30,447,232 |

令和4年度 創立百周年記念玉翠会教育基金収支予算書

〈収入の部〉

| 科 目 | 金 額 |
|-------------|-----------|
| 玉翠会会計より繰入収入 | 2,000,000 |
| 受 取 利 息 | 0 |
| 雑 収 入 | 0 |
| 収 入 の 部 合 計 | 2,000,000 |

〈支出の部〉

| 費 目 | 金 額 |
|-------------|------------|
| 奨 学 金 | 2,160,000 |
| 教 育 活 動 費 | 200,000 |
| 支 払 手 数 料 | 10,000 |
| 予 備 費 | 50,000 |
| 支 出 の 部 合 計 | 2,420,000 |
| 当年度収支差額 | △ 420,000 |
| 前年度収支差額 | 21,118,104 |
| 次年度収支差額 | 20,698,104 |

令和4年度 甲子園出場記念教育基金収支予算書

〈収入の部〉

| 科 目 | 金 額 |
|-------------|-----|
| 受 取 利 息 | 0 |
| 収 入 の 部 合 計 | 0 |

〈支出の部〉

| 費 目 | 金 額 |
|-------------|-----------|
| 教 育 活 動 費 | 800,000 |
| 支 払 手 数 料 | 550 |
| 支 出 の 部 合 計 | 800,550 |
| 当年度収支差額 | △ 800,550 |
| 前年度収支差額 | 6,840,830 |
| 次年度収支差額 | 6,040,280 |

令和3年度 玉翠会事業報告

| 月 | 日 | 曜 | 事 業 名 | 会 場 |
|-----|-------|-----|--|-----------|
| 4 | 16・19 | 金・月 | 会計監査 | 5 階会議室等 |
| 4 | 27 | 火 | 玉翠会 会長・副会長会 | 1 階会議室 |
| 中 止 | | | 東海玉翠会総会 | |
| 6 | 4 | 金 | 玉翠会 教育基金運営委員会 | 校長室 |
| 中 止 | | | 玉翠会 理事会・代議員会 | 書面開催 |
| 中 止 | | | 徳島玉翠会総会 | |
| 7 | 8 | 木 | 第1回玉翠グローバルアカデミー(GGA) H7卒 真鍋康正氏(ことでんグループ代表) | 体育館(非公開) |
| 7 | 10 | 土 | 玉翠会報 第42号発行 | |
| 7 | 10 | 土 | 東京玉翠会総会 | オンライン開催 |
| 9 | 15 | 水 | 文化祭 ※玉翠庵お休み処(H6卒主管)は中止 | 高松高校(非公開) |
| 10 | 23 | 土 | 関西玉翠会総会 | オンライン開催 |
| 11 | 10 | 水 | 第2回玉翠グローバルアカデミー(GGA)先輩講演会 S46卒 植田 隆子氏 外務省欧州連合日本政府代表部元次席大使 他 | 体育館(非公開) |
| 中止 | | | 岡山玉翠会総会 | |
| 2 | 7 | 月 | 玉翠会 会長・副会長会 | 1 階会議室 |
| 3 | 4 | 金 | 卒業式 | 体育館 |

高松懇親会準備委員会 10/19

令和3年度 玉翠会会計収支決算書

〈収入の部〉

| 科 目 | 金 額 |
|-------------|-----------|
| 玉 翠 会 会 費 | 7,707,754 |
| 玉 翠 会 入 会 金 | 906,600 |
| 受 取 利 息 | 355 |
| 雑 収 入 | 55,450 |
| 収 入 の 部 合 計 | 8,670,159 |

〈支出の部〉

| 費 目 | 金 額 |
|----------------------|------------|
| 本 部 運 営 費 | 3,990,893 |
| 支 部 運 営 費 | 50,000 |
| 卒 業 生 記 念 品 料 | 118,360 |
| 退職積立預金繰入支出 | 199,772 |
| 創立百周年記念玉翠会教育基金会計繰入支出 | 2,000,000 |
| 予 備 費 | 0 |
| 支 出 の 部 合 計 | 6,359,025 |
| 当年度収支差額 | 2,311,134 |
| 前年度収支差額 | 29,345,898 |
| 次年度収支差額 | 31,657,032 |

令和3年度 創立百周年記念玉翠会教育基金収支決算書

〈収入の部〉

| 科 目 | 金 額 |
|-------------|-----------|
| 玉翠会会計より繰入収入 | 2,000,000 |
| 受 取 利 息 | 265 |
| 雑 収 入 | 0 |
| 収 入 の 部 合 計 | 2,000,265 |

〈支出の部〉

| 費 目 | 金 額 |
|-------------|------------|
| 奨 学 金 | 2,160,000 |
| 教 育 活 動 費 | 13,000 |
| 雑 費 | 8,800 |
| 予 備 費 | 0 |
| 支 出 の 部 合 計 | 2,181,800 |
| 当年度収支差額 | △ 181,535 |
| 前年度収支差額 | 21,299,639 |
| 次年度収支差額 | 21,118,104 |

令和3年度 甲子園出場記念教育基金収支決算書

〈収入の部〉

| 科 目 | 金 額 |
|-------------|-----|
| 受 取 利 息 | 113 |
| 収 入 の 部 合 計 | 113 |

〈支出の部〉

| 費 目 | 金 額 |
|-------------|-----------|
| 教 育 活 動 費 | 0 |
| 雑 費 | 550 |
| 支 出 の 部 合 計 | 550 |
| 当年度収支差額 | △ 437 |
| 前年度収支差額 | 6,841,267 |
| 次年度収支差額 | 6,840,830 |

令和四年度 理事会・代議員会開催される

榎田實会長、牟禮明副会長、平尾直子副会長が退任。
間島賢治新会長のもと、新副会長に池田恵子氏（昭和四十七年卒）、
佐藤今日子氏（昭和五十六年卒）の二氏が加わる。

令和四年度玉翠会理事会・代議員会は五月二十八日（土）午後一時三十分より高松高校五階玉翠ホールにて百九名の出席をもって三年ぶりに開かれた。

コロナ禍で二年間書面開催となっていた玉翠会理事会・代議員会を今年度は漸く開催することができた。出席者にはマスク着用、検温、手指消毒などをお願いした。

まず、開会に先立ち、昨年度ご逝去なされた百十八名の方々のご冥福をお祈りし、全員で静かに黙祷を捧げた。

今年度は千切谷耕一郎理事（平成二年卒）の司会により進められた。初めに榎田会長から挨拶があり、コロナに負けず八十歳代の方々にもご出席いただいたお礼とともに、今後は若い方々にも是非出席していただきたいと呼びかけられた。

次に各支部から関西玉翠会より森泰藏副会長、岡山玉翠会より多田譲治会長、徳島玉翠会より坂口英則副会長にご挨拶いただいた。各支部ともコロナ禍の中で支部総会の中止やオンライン開催の検討をする中で、会員の近況をお知らせできる手段を模索しているようであった。

続いて中筋校長から、玉翠会に様々な支援をしていただいていることへの感謝とともに、今の校舎が建てられた時の校長先生が昨年ご

逝去なされた塩井校長で、もっと高高のことについて伺いたかったことが述べられた。また、現在、コロナ禍で多くの制約を強いられながらも高年生らしく生徒たちが学校生活を送っており、今後ともご支援をお願いしたいとの挨拶があった。

議事は会則に従い、榎田会長の議長のもと進められた。事務局より前年度事業報告、玉翠会会計等収支決算報告、中村監事より監査報告があり、事業、会計ともに拍手で承認された。（四P参照）

続いて役員改選に移り、まず監事に天雲俊夫氏（昭和四十七年卒）、新理事に池田恵子氏（昭和四十七年卒）、藤川宏樹氏（昭和四十七年卒）、佐藤今日子氏（昭和五十六年卒）、総務担当理事に増田晋一氏（昭和六十三年卒）が選任された。続いて会長、副会長について、榎田實会長、牟禮明副会長、平尾直子副会長の退任の意向を受け、間島賢治副会長が会長に、池田恵子氏と佐藤今日子氏が副会長に理事の互選によって選任されたことが報告された。その後、長きにわたり玉翠会を支えてくださり、今回勇退される三氏に花束が贈呈さ

れ、退任の挨拶を、続いて新会長、副会長から就任の挨拶をいただいた。



榎田会長退任挨拶

その後、今年度事業計画案が承認され、併せて創立百三十周年記念事業について実行委員長である佐藤哲也副会長から懇親会担当副委員長の荒木隆氏（昭和六十二年卒）、総務担当副委員長の鳥養智子氏（平成元年卒）、武典担当副委員長の千切谷耕一郎氏（平成二年卒）の紹介があった。また、本校は、令和五年度に百三十周年を迎えるが、玉翠会としての祝賀会は令和六年に計画していることが報告された。最後の議案である今年度の玉翠会会計等収支予算案についても承認が得られた。（四P参照）

続いて、創立百周年記念玉翠会教育基金と甲子園出場記念教育基金の二つの運用規程について、規程が作られた時の在校生が玉翠会員となっているため運営委員からPTA会長

を不関与とすること、構成員が「若干名」ではなく定数を決めた方が会を持ちやすいことから、委員長に玉翠会会長を、副委員長に校長を、委員に玉翠会副会長を、監事に玉翠会監事を充てて、運営委員会を開きやすくしたことが報告された。また、香川県公立高等学校同窓会協議会が設立されたことについて、佐藤哲也副会長から報告があった。

玉翠会事務局からは会費納入方法の追加後の現状について報告があった。また、高松高校からは、来年度の百三十周年事業として記念式典を第二回のGGAにあわせて挙行すること、記念誌を発行すること、シンボルマークを作成することが予定されていると報告があった。続いて、今年度のGGAの講師が紹介され、最後に、森川副会長の閉会のことばで理事会・代議員会を終了した。



間島会長就任挨拶

支部会だより

東京玉翠会



東京玉翠会は昨年七月十日に第三九回総会を「東京玉翠会DX」これがニューノーマル玉翠会」をテーマに史上初めてオンラインで開催いたしました。

新型コロナウイルスの影響を受け、前年の三八回総会は中止となり、その後も感染拡大が続き、東京は緊急事態宣言も発令。外出することすらままならない状況下において「二年連続中止はなんとしても避けたい」ということでオンライン同窓会を実施致しました。オンラインの特性を活かし、遠方に住んでいる方々とも懇親を深められる場所を提供することができました。当日のアクセス者数は一一八七人と大盛況。その後も全国各地の高校OB会より「どうやってオンラインでこんなに人を集めることができたのか？」等々ヒアリングが来るほどの大成功を収めることができました。

さて、現在の東京都内ではまんえん防止等条例等も解除され街には人が戻ってまいりましたが、依然、新規感染者数が下げ止まっている状

態です。東京玉翠会でも、大人数でのイベントが殆ど開催できない状況が続いております。毎年恒例となっている麻雀の菊池寛杯や餡餅雑煮会といった人気のイベントも開催中止・見送りととなり、同窓会活動を含めた交流の場が少なくなってしまうております。ただそんな中でも、俳句を詠みあう「にくの会」や東京の名所を巡る「大江戸散歩会」など徐々にではありますが、元の活動が復活しつつあります。

第四十回目となる今年の総会に向けて昨年末より、幹事学年である私達平成九年卒のメンバーは、夜な夜なオンラインで集合し、開催方式について様々な議論を行いました。当初は会場開催もなんとか出来ないかと検討しましたが、オミクロン株の流行等もあり、参加者の安心・安全を第一優先として、今年も七月九日にオンライン開催とさせて頂くことになりました。題して「四十年だよ！全員集合！」あの日の笑顔でもう一度「をテーマに準備を進めております。前回同様「スペシャル・チャット」というオンラインサービスを利用して、各学年の同窓生同士での懇談を自由に楽しみたい、「プロサックスプレイヤー」と現役高生生のコラボ企画」「バーチャル里帰り」などのパワーアップした催し物をご観覧頂ける形式となっております。また、オンラインのため、住んでいる場所を問わず全国各地や海外からも参加を募っております。依然コロナ禍の最中で、なかなか大人数の同窓生で集まる機会も少ない昨今かと思っておりますので、この機会に同窓生や卒業生同士の繋がりを深める機会として頂ければ幸いと願っております。

まだまだ不安な日々が続きますが、皆様の健康とご多幸をお祈り申し上げます。今後とも東京玉翠会を宜しく願ひ致します。

第四十回幹事団代表

矢野 和樹(平成九年卒)

徳島玉翠会



会長 長尾 哲見
(昭和四十四年卒)

本部総会の開催誠におめでとうございます。植田前会長には徳島支部総会にも度々ご出席を頂き真心こもったご挨拶を頂戴するなど大変お世話になりました。

また、後任の間島新会長には歴代会長同様徳島支部への変わらぬご指導を今後とも宜しくお

岡山玉翠会



会長 多田 譲治
(昭和四十四年卒)

「新型コロナウイルス感染症の猛威、想像もなかった事態が全世界で進行しています」と書いたのは、もう二年も前のこの玉翠会報でした。そして今日、その流行の波に収束の気配はみられません。全世界の感染者数は五億人を超え、国内でも八百五十万人以上となっています。

岡山県も第六波を迎え、やや減少してきたかと思われるものの累積感染者数は九万人を超え、まだまだ三桁の新規感染が続いています。東海と徳島の支部総会は今年も中止、東京は昨年

続いて今年もオンライン開催と聞いております。人々に恐怖をもたらす感染症は後を絶ちません。一九八三年頃から注目されたエイズでは多くの有名人もなくなりましたが、今では多剤併用療法によりコントロール可能なウイルス感染症となっています。古くから恐れられていた天

願ひ致します。さて、この三年近く、コロナ禍の下で本部を始め各支部とも誠に残念ながら総会の中止やオンラインによる総会等とかつてない事態に遭遇しております。

徳島支部もご多分に漏れず今年も総会は役員で協議して中止とさせて頂きました。その代わり、昨年同様に会員相互の絆として総会誌の発行を行い、総会の意義を留める事になりました。最後に一日も早くコロナの感染が収束し、再び一堂に会した総会が開催される時を強く念願するとともに玉翠会の今後益々のご発展を祈念して支部便りとさせて頂きます。

然痘は、そのワクチンの効果により一九八〇年にWHOから撲滅宣言が出され地球上から消滅しました。ところが、最近になり、コンゴ民主共和国などアフリカだけで報告されていたモンキーポックス(サル痘)の感染者がヨーロッパの国々でも流行り出したというニュースがあります。さらに、ヨーロッパを中心に、小児における原因不明の急性肝炎が知られるようになり、国内でも数例の報告があります。私たちは常に未知の感染症に注意しなければなりません。

さて、一昨年の第四十二回、昨年の第四十三回岡山玉翠会総会・懇親会は、コロナ禍のため中止せざるを得ず、幻の二回となってしまいました。同時に総会の準備のための幹事会さえ開けない状態でした。現在もコロナ禍という同様の状況下ではありますが、今年の総会・懇親会は、本来なら第四十四回目となり、十一月二十日(日)にアーキホテル岡山での開催を予定しております。ただ、今年の総会も予定通りに開催できるかどうか不透明感がぬぐえませんが、十分な感染対策を講じながらの開催を模索したいと思ひます。今はただ、コロナ禍が速やかに収束し、例年通りに開催できることを祈るばかりです。

関西玉翠会

関西玉翠会、二十一年度のテーマは『繋ぐ・繋がる』『縁』(昭和・平成・令和)。平成二年卒である年次幹事の代は在学中に昭和から平成への移り変わりを経験しており、新校舎をまったく知らない最後の代となります。

オンライン開催となった前年を踏まえ、今回はリアルに会える総会が実施できるかもしれないという期待の下、会場仮予約が許されるギリギリの日までリアル開催とオンライン開催とを並行して企画しましたが、最終的に二年連続のオンライン開催となりました。

二〇二二年十月二十三日(土)、総会を二部制にして、Zoomを使ったオンライン形式で実施し、前年をこえる人数の皆様にご参加いただきました。第一部は、亡くなられた方々への黙祷から始まり、関西玉翠会・樋口会長のご挨拶、議事の承認、来賓の皆様からのご挨拶、校歌斉唱というプログラムとしました。来賓の皆様にもご自宅などの地元からご挨拶をいただいたわけであり、距離を超えての参加という意味では、リアル開催となる今後にも新たな可能性を感じることができました。

第二部では、リアルで懇親会を開催する際に企画していた内容を、動画としてオンライン配信しました。まず、現役高生生の吹奏楽部・応援団の皆さんによる演奏・演舞を動画で披露いただきました。次に、会報誌でも特集した「文化祭企画」から、二十一年の文化祭の様子を画像で紹介しました。その流れで、幹事メンバーが高校二年生だった当時の文化祭で制作・公開したハミリ映画「高高探検」を動画配信しています。増改築を繰り返した旧校舎には、当時の現役生にとっても謎の設備(開けると壁の模など)が多数存在し、その数々を探検隊が捜索していくという内容で、クライマックスとして定



時制職員室地下に残されていた防空壕を映像に残しています(先輩の皆さん、ご存じでした)。ここで一旦会を終了し、参加の皆様はZoomを使ったチャットアンケートにご協力いただいたのも新しい試みでした。アンケートに記入いただく間、現役高生生の放送部の皆さんにご協力いただいた「部活動紹介」の映像を流したところ、ほとんどの参加者の方が最後まで残っていたとのこととなりました。アンケート

東海玉翠会



会長 入倉 憲二
(昭和四十四年卒)

例年、東海玉翠会は全支部のトップバッターとして五月に総会を開催していましたが、今年も五月開催はリスクが高いと判断し、感染が落ち着くだろうという期待のもと九月十七日(土)に延期しました。ただ、ワクチン三回目接種が進んでおり、ウィズ・コロナという生活様式の変化はあるものの、「大人数」「長時間」が避け

トには「ここまで今の高生高の紹介された、現役の高生も参加してくれた総会というのは関西玉翠会至上、初めてではないか」「オンラインの可能性を考えると、支部をこえた会が企画できるようなになるかも」といった嬉しいお声をいただいています。



最後に、広告・協賛金にご協力いただきました皆様、映像提供や中継などに快くご協力いただきました高松高校の生徒・職員、玉翠会本部・支部の皆様、難しかったかもしれないオンライン総会に参加いただきました皆様、会報にご寄稿いただきました皆様に幹事一同、心

からお礼を申し上げます。ありがとうございます。今後とも関西玉翠会をよろしく願っています。二〇二二年度総会幹事(平成二年卒)一同

られない総会・懇親会だけに、まだ予断はできないと思っております。七月初めには開催可否の判断をしなければなりません、もし今年も開催できないとなれば三年連続となり、東海玉翠会の存在を会員に忘れられると寂しいです。で、何らかのアクションが取ればと考えております。また元気な姿で会員が集える総会ができる日が来ることを楽しみにしております。コロナ禍が早く終息して、来年こそは各支部の総会に顔を出せるようになることを願ってやみません。最後になりましたが、全国の玉翠会会員の皆様のますますのご健康とご活躍を心から祈念申し上げます。

定時制だより

ご挨拶

教頭 近藤 雅和

令和四年度は、新入生四名を迎えて、生徒十九名(男子九名、女子十名)、職員七名でスタートしました。

生徒は、卒業後の進路を見出そうと、夕方からの授業に真剣に取り組んでいます。私達職員は生徒の個性や希望を尊重しながら、内容を精選し、基礎・基本を大切にしながら「わかる授業」を第一に、と考えています。また、学校行事にも工夫や改善を加えて、生徒会を中心に、学校生活の活性化を図っています。始業前や放課後、教室では、生徒たちのにぎやかな話し声が絶えません。今後とも生徒と教師のふれあいの場を大切にし、生徒一人ひとりの将来を見据えた教育を行います。以下、本校定時制の主な学校行事を紹介いたします。

○入学式 —男子三名、女子一名—

四月七日(木)、四名の新入生が定時制課程に入学しました。

新入生代表が「強い意欲を持って、校則を守り学習に努め、立派な定時制の生徒となります。」と、澁刺とした声で宣誓を行いました。高校生活への期待と意欲が窺えました。

○新入生研修

—親交を深めた活動—

四月二十二日(金)、峰山公園へ行きました。野外炊飯などの活動はできませんでしたが、晴天に恵まれ、山の上で昼食をとり、展望



台では島々の浮かぶ瀬戸内海の景色を満喫しつつ、親睦を深めました。バレーボールなどのレクリエーションをするなど、とても楽しい様子でした。短い時間でしたが、笑顔いっぱいの活動となり親交を深める研修となりました。

○県定通総体 —全国大会出場—

以下、令和三年度の記録

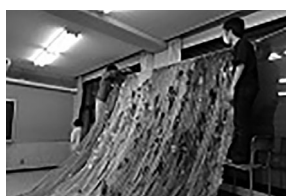
六月二十七日(日)、香川県定通総体が開催され、バドミントン競技(男女)、卓球競技(男)に出場しました。新型コロナウイルス感染症対策のため、残念ながら、出場しない生徒たちの応援はありませんでしたが、卓球では、男子団体が接戦を制して優勝し、全国大会出場を勝ち取りました。試合後には大きな拍手で両チームの健闘をたたえしました。全国大会では残念ながら初戦突破はできませんでしたが、良い経験ができました。また、二年次生の藤田さんが男子個人戦でベスト四に入り、県の代表として、全国大会への切符を手に入れました。授業が終わって疲れている放課後、毎晩練習してきたその努力の成果を十分に発揮することができました。



○第七十一回文化祭

—定時制二〇二二—

九月十五日(水)に一日のみ、非公開での開催となりました。定時制のメイン展示は、七色の異なるテープで虹の滝をつくり、また、七色の鯉を折り紙で折ったものを、滝に配置し、滝上りをしていく様子を作るというものでした。みんなで、立体的な折り紙で鯉を折り、一つ一つ並べていく



という地道な作業を積み重ね、無事展示することができました。一、二年次生が、装飾と作品展示を、三、四年次生が吊り下げ装飾を担当しました。新型コロナウイルスの影響で開催が危ぶまれましたが、感染防止対策を行いながら、全員が力を合わせ、一つのものを作り上げるといふ貴重な経験ができ、充実した文化祭となりました。

○観月句会 —月見と俳句—

十一月十五日(月)、昨年に引き続き、今年もきれいに月を見ることができました。街の灯に負けないほど明るく輝く月を見ながら、各々の気持ちを俳句に表しました。

例年ならば、保護者の方にも参加していただき、玉翠会館和室でお茶会をするところですが、今年度もお茶会は中止となりました。学校で用意した和菓子をおいいただきながら、俳句の優秀作品が披露され、選ばれた人からは歓声が上がりました。日本の文化を味わいつつ、学年を越えての交流も深めることができました。



- ・月を見る ふと君のかお なつかしい
- ・寒すぎて 文字が震えて 味になる
- ・雲消えて 澄みわたる空 名月よ
- ・十日夜 月は出たけど 句は出ない

○生活体験発表大会 —自身の成長—

十月九日(土) サンポートホールで県大会が行われ、本校代表として四年次生の溝口さんが、「人との関わり」と題して発表しました。堂々と落ち着いた態度で、自らの経験と成長を振り返った発表は、見事「優秀賞」を受賞しました。たくさん



の人と出会い、関わる中で、自分を見つめ直

し、頑張ってきた自らの内面を、言葉に表しながら発表する姿に、聞いていた後輩達も勇気をもらえたのではないかと思います。日常の大切な発表者の高校生活を通じての成長が伝わる素晴らしい発表でした。

○校外研修

—キャビア養殖見学と和三盆型抜き体験—

十一月五日(金)、目的地は東かがわ市。「東かがわつばきキャビアセンター」と「讃州井筒屋敷」を訪れました。養殖されているチョウザメを間近に見たり、和三盆の型抜き体験をしたりすることができました。地元香川にある素晴らしい施設を訪れることができ、満足の一日となりました。



○予餞会 —四年次生をねぎらいました—

二月十日(木) 生徒会が中心となって企画・運営・準備をしました。各学年が催し物を計画し、ゲーム大会を行うなど、予餞会を盛り上げました。楽しい時間で四年次生を送り出すことができました。



○卒業式 —晴れやかな笑顔で—

三月四日(金) 快晴、四年次生三名全員が晴れて卒業しました。卒業式の後、教室で担任の川田先生やお祝いにかけつけた先生方から祝辞をいただき、念願の卒業証書を手に入れました。高校時代の思い出を宝にして活躍することを祈っています。



通信制だより

ご挨拶 教頭 筒井美貴

通信制課程では、本年度、新入生二十六名を迎えて一六〇名でスタートしました。

通信教育は、自学自習を基本とし、学校から毎月送付されるレポート課題を作成、提出して添削指導を受けることが学習の中心となりますが、面接指導（スクーリング）のある日曜日には登校して、レポートを作成する際に解らなかつたことを授業で学んでいます。授業以外にも、新入生歓迎行事や文化祭、体育祭、生活体験発表会、遠足等の行事もあり、楽しい雰囲気の中で学習しています。以下、通信制課程の主な行事を通して、在校生の様子を紹介します。

〇入学式

四月十日（日）、令和四年度入学式が行われ、一年次生十八名、二年次編入生七名、特修生一名、合わせて二十六名の新入生を迎えました。

厳かな雰囲気の中、校長式辞に続き、新入生代表より宣誓文が読み上げられ、入学生一同、新たな学校生活に期待を膨らませたようです。通信制課程での学びを通して生徒の皆さんの夢や希望が実現できるよう心から応援しています。

〇つどい

五月二十二日（日）に行われた「つどい」は、通信制に新しく入ってきた仲間を歓迎する最初の学校行事です。新・編入生を中心に三十八名が参加しました。



全体ミーティングでは生徒会役員から新入生に対し学校生活を送る上でのアドバイスがあり、通信制ならではのルールに新入生は興味深そうに聞き入っていました。続いて行われたソフトバレーやドッジボールでは、和気あいあいとした雰囲気の中、年次を超えた交流の様子が見られました。

〇県定通総体

以下は令和三年度の記録
六月二十七日（日）、香川県高等学校定時制通信制課程総合体育大会が県内三会場で開催されました。本校通信制からは、十三名の選手が、陸上競技、バドミントン、卓球に出場しました。陸上競技では女子が総合の部第二位となり、田渕凜奈さんは砲丸投で全国大会に出場しました。また、卓球でも男子個人で牛久保直輝さんがベスト四入りを果たし、全国大会へ出場しました。



〇夢チャレンジ講座

七月二十五日（日）は、夢チャレンジ講座で「藍染め体験」をしました。今回は高松市築地町にある大川原染色本舗で説明を受けた後、実際に藍染めの工程を経てトートバッグを作成しました。輪ゴムで縛った箇所が偶然にできる模様となつて周囲が藍色に変化していくことに驚きました。店内では獅子舞の時にかぶる布「油単」や高松空襲時に焼け残った戦前の藍染めの見本帳を見せていただき、大変勉強になりました。



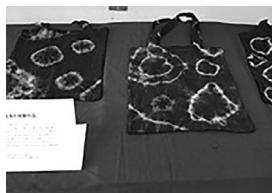
〇校内生活体験発表会

八月二十九日（日）、各年次から選出された八名の代表者のみを集め、校内生徒生活体験発表会が一階会議室で開催されました。どの発表も学校生活と自分の人生や目標に関する思いが述べられ、感銘を受ける発表会でした。審査の結果、一位に四年次の野口千乃さん「これも、個性」が、二位に三年次の児島葵さん「自分の目標」が、それぞれ選ばれました。野口千乃さんは、香川県予選会でも最優秀賞に輝き全国大会に出場見事、厚生労働省人材開発統括官賞を受賞しました。児島葵さんは四国地区大会に出場（録音審査）し、努力賞を受賞しました。

〇文化祭

九月十五日（水）、一日のみ・非公開という異例の形になりましたが、今年度も全定通合同文化祭が開催されました。

全体テーマ「Infinite Decimal」のもと、通信制では、夢チャレンジ講座で学んだ「藍染め」の研究報告を中心に、教室展示を行いました。また、芸術選択者・有志作品を展示し、例年と変わらぬ充実した展示となりました。



〇体育祭・ヨガ体験

十月十七日（日）、体育館二階アリーナで体育祭が開催されました。各年次対抗で行われたスパーリレーやパン食い競争、ソフトバレーボール・ドッジボール、新種目のボールはじきなど、様々な種目に挑戦しました。慣れない競技に悪戦苦闘するも、大いに盛り上がりました。また、午後には日本脳脊協会の林たかこ、ドリス両先生をお招きして「きらめきヨガ」を体験しました。



〇遠足

十一月十四日（日）、倉敷市の大原美術館、倉敷美観地区へ遠足に行きました。美術館内を見学した後、美観地区へ出て自由に時間を過ごしました。少し離れたアウトトレックパークに足を延ばした生徒もいました。秋の一日をゆっくり過ごすことができました。



〇生徒総会・交通安全教室

十二月五日（日）に生徒総会が行われ、新生徒会役員が承認されました。任期は令和四年一月一日から十二月三十一日までです。新役員の皆さん、一年間よろしく願います。

また、生徒総会終了後に引き続き、交通安全指導係の藤澤先生による交通安全教室が開催されました。改めて、運転時には集中力や周囲への配慮が必要であることを実感しました。



〇卒業式

三月四日（金）、体育館において、全・定・通合同の卒業証書授与式が行われました。今年もご来賓、在校生の参加を制限する中で行われましたが、通信制課程では二十四名の卒業が認められ、野口千乃さんが代表として卒業証書を受け取りました。仕事や家庭との両立に苦労したり、さまざまな悩みを抱えたりしながら、無事この日を迎えることができた卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。今後のご健康とご活躍を心よりお祈りしています。



新入会員より

高高での三年間

僕が高高に入學しようと思った理由は二つ。兄弟が高高を卒業していて馴染みがあったこと。高高に入學することがなんとなく自分の将来を考えたときに無難だと考えていたこと。それだけだ。面接で、勉強と部活動の両立を頑張りたいという必殺の決まり文句は言ったものの、そんなことをやってのける自信はなかったしそんなにやる気もなかった。しかし、いざ入學したらそんな甘い考えではいられない。同級生は入學した瞬間から塾のプリントや単語帳を広げてめちやくちや勉強するし、数学は進度速いし難しい。サッカー部のチームメイトも例外じゃない。部活が終わったら、疲れも見せず塾に直行して夜遅くまで残っているらしい。最初の一ヶ月はなんでこんな高校に来てしまったんだという後悔しかなかったし、家では泣き言ばかりだった。けどそんな僕にも良いところが二つある。負けず嫌いなところと周りの影響をめちゃくちゃ受けやすいところだ。塾に通っている友達に負けないように、朝早くに学校に来て、夜遅くまで残って勉強した。頭がいい人の勉強法はすぐ取り入れたし、わからないところはとことん友達や先生に聞いた。サッカー部の友達とはテストのたびに得点を競い合って部内一位を目指した。こんなことを三年間続けたことのでか나りの学力がつい

橋 本 晃次郎 (令和四年卒)

た。学力がついてきた三年生くらいの時には、一年の時からずっと勉強し続けたことをよく褒められたが、僕からすると一緒にずっと勉強してくれた友達やわかるまで教えてくれた先生方がいてくれたおかげでしかない。自分ひとりじゃ絶対無理だった。勉強だけでなく部活もそう。短い限られた時間の中で練習し、大会で勝つためにはどうすればいいか、大学受験の不安を抱えながらプレーするチームメイトをどうまとめるのか、キャプテンとして悩むことばかりの毎日だったけど、いつもそばで愚痴を聞いてくれる仲間やアドバイスをくれる顧問の先生がいた。そのおかげで最後の大会で負けた後には、自分でもびっくりするくらい泣けた。悔し泣きできるくらい頑張

玉翠会奨学金のお礼

令和四年卒業生

私は、一年生の頃から三年間玉翠会奨学金を頂きました。玉翠会の皆様、本当にありがとうございます。

私の家庭は四人姉弟で、姉が一人、弟が二人います。姉も本校出身で、玉翠会の皆様に支えて頂きました。現在は大学に通っ

れたことが嬉しかった。長くなってしまっただけ、僕が言いたいことは、今の自分があるのは全部、友達や先生方、家族のおかげだし、そんな人たちと過ごした高校三年間は最高でかけがえのないものだということだ。最後に。僕たちの高校三年間を語る上で、やはりコロナのことについて何も言わないわけにはいかない。世間の人たちの中には、僕たちはコロナの影響をモロに受けた世代でかいそうだと言う人がいるかもしれない。たしかに、コロナのせいで学校が休校になることもあったし、文化祭は規模を縮小せざるを得なかったし、なんと言っても三年間の大きな思い出になるはずだった修学旅行は中止になった。でも決して僕たち

はかわいそうではない。何気ない日常がかけがえのないものだと感じ、コロナ禍で制約される活動の中でも一日一日を大切に、どんな行事も全力で、最高の思い出を作った。教室でのたわいのない会話が青春だった。そんな高高での三年間は、コロナなんか関係なく、一生の宝物だ。

ており、大好きな美術を学んでいます。高校生の弟はバスケットボールと書道を、小学生の弟は、水泳に励んでいます。両親が仕事で忙しいため、姉弟で支え合って、なるべく両親への負担が軽くなるようお手伝いを率先して行っています。

私は将来、たくさんの人から信頼される医師になりたいと思っています。勉強が大変で苦しいこともあります。早く両親の役に立てるよう頑張っていきたいです。

投稿募集のお知らせ

玉翠会報では次のようなコーナーを設けたいと考えております。

- 1 「文集」・・・各学年で文集を出されましたら、一冊事務局あてへお送りくださると紹介させていただきます。
- 2 「卒業写真」・・・卒業写真とともに懐かしい高校時代を振り返り、その思い出、エピソードなどを綴っていただくコーナーです。
- 3 「芸芸欄」・・・会員の皆様方からお寄せいただいた作品を紹介させていただきます。随筆、詩、短歌、俳句など、ジャンルは問いません。

また、「あの先生は今：」「ただいま活躍中！」のコーナーに掲載する方のリクエストもお待ちしております。その他お気づきの点などございましたらお聞かせいただけたらと思います。
宛先は「玉翠会事務局」まで、郵送又はFAX、電子メールでお願いいたします。

香川県立高松高等学校

玉翠会事務局

〒760-0017 高松市番町 3 丁目 1 番 1 号

電話 (087) 831-7251(代)

FAX (087) 831-0010

mail:info@gyokusui.org

ホームページ

公式：香川県立高松高等学校同窓会玉翠会本部

<https://gyokusui.org/>

玉翠会本部

検索



令和 4 年度玉翠会報

ダウンロードパスワード・1277

コロナ禍二年目の学び舎より

二年生修学旅行 三年生代替行事

高松高校新聞より

十二月二十二日から二十四日まで、二年生は修学旅行で和歌山へ訪れた。一年生に、心に残った思い出をアンケートした。

修学旅行アンケートより

| 見学地 | A | B | C | D |
|-------------|------|------|------|-----|
| 千畳敷 | 70.3 | 25.1 | 3.9 | 0.7 |
| アドベンチャーワールド | 68.9 | 25.3 | 4.1 | 1.7 |
| 黒潮市場 | 62.7 | 29.4 | 7.5 | 0.4 |
| くじら博物館 | 58.8 | 31.6 | 7 | 2.6 |
| 三段壁洞窟 | 48.1 | 42.8 | 8.1 | 1.1 |
| 紀州梅干し館 | 41.8 | 47.5 | 8.5 | 2.1 |
| 秋津野ガルデン | 36.8 | 47.4 | 15.8 | 0 |
| 那智の滝と那智大社 | 33.3 | 48 | 16 | 2.7 |
| 橋杭岩 | 28.1 | 68.8 | 3.1 | 0 |
| 南紀熊野ジオパーク | 23.2 | 37.7 | 30.4 | 8.7 |

A…とてもよかった

B…よかった

C…あまりよくなかった

D…よくなかった

訪れたのは千畳敷や、アドベンチャーワールド。自由行動では梅干記念館や那智の滝などを巡ったそう。特に思い出に残っているのは千畳敷で、「夕日がとてもきれい」「太平洋の凄さを感じ知った」と答えてくれた。

第2回 GGA開催

「広い世界に生きる」

植田 隆子氏 昭和46年卒



また旅で最も楽しみなことのひとつであるホテルでの思い出を聞いてみると、「お菓子やケーキ、辛ラーメンを食べたこと」「足湯に行ったこと」と回答をもらった。

コロナ禍で制限も多かっただろうが自由で楽しい修学旅行になったようだ。

また、十一月一日、三年生も修学旅行代替行事を行った。行き先はレオマワールドと四国水族館。四クラスはレオマワールドから四国水族館、残りの四クラスは四国水族館からレオマワールドへ移動した。十一月ではあったが暖かな日差しの中、友人との楽しいひとときを過ごしていた。この日だけは受験勉強を忘れてすっかりトリフレッシュし、思い出とお土産をたっぷり持ち帰ることができたようだ。

本校は来年度創立130周年を迎えます

思い出の品々の寄贈のお願い

～高松高校創立130周年記念～

高松高校創立130周年を機に、卒業生の皆様から高校時代の思い出の品々を寄贈していただき、高松高校の歩みの資料にさせていただき取り組みを実施することになりました。

ご寄贈いただく思い出の品々について

- ・内容の指定や限定はございません。
- ・ご提供いただく場合、品々にまつわる簡単なエピソード等を書き添えていただければ幸いです。

また、よろしければ「卒業年、お名前、ご連絡先」などもお知らせください。

募集期間

- ・令和4年12月末までとさせていただきます。

ご寄贈いただいた思い出の品々の活用

- ・ご提供いただいたご寄贈品につきましては、一部「高松高校130周年記念誌」や「玉翠会報」でもご紹介する場合がございます。

送り先

- ・画像ファイルの場合は、メールにて
info@gyokusui.org (玉翠会事務局メール)
までお送りください。
- ・アルバムなど思い出の品々につきましては、
玉翠会事務局 〒760-0017 香川県高松市番町三丁目1番1号
までご送付ください。

なお、寄贈後の思い出のお品についての取り扱いは、高松高校に一任することをご了承くださいますよう、お願い申し上げます。

高松高等学校創立130周年記念事業実行委員会

十一月一日、一年生を対象に体育館で令和三年度先輩講演会兼第二回玉翠グローバルアカデミーが行われた。ゲストスピーカーとしてお越し下さったのは本校を一九七一年に卒業された植田隆子先生だ。植田氏は欧州連合日本政府代表部次席大使として活躍されたのち、安全保障と信頼醸成措置をご専門に多くの大学で教鞭を取られた。

今回は現地に足を運んで世界を目にされてきた先生自身の経験談を中心に日本と各国の関係や出来事について講演をいただいた。ベールリンの壁崩壊前、実際に現地へ行かれた時、

十一月一日、一年生を対象に体育館で令和三年度先輩講演会兼第二回玉翠グローバルアカデミーが行われた。ゲストスピーカーとしてお越し下さったのは本校を一九七一年に卒業された植田隆子先生だ。植田氏は欧州連合日本政府代表部次席大使として活躍されたのち、安全保障と信頼醸成措置をご専門に多くの大学で教鞭を取られた。

今回は現地に足を運んで世界を目にされてきた先生自身の経験談を中心に日本と各国の関係や出来事について講演をいただいた。ベールリンの壁崩壊前、実際に現地へ行かれた時、

バスの中で乗客皆が押し黙っていたというお話やレーガン米大統領とゴルバチョフソ連共産党書記長が会談されたジュネーブの大学で客員研究員をされていた時のお話には皆聞き入っていた。また、一部二部ともに丁寧に質疑応答にお応え頂き、二部に集まった一年生から質問が途切れなかった。

国際問題に関心が高まる中、このGGAが貴重なお話を伺えた皆に広い世界について考える大変良い機会となったことは言うまでもない。

校友会成績

運動部の軌跡

〈陸上競技部〉

▼四国総体

▽三段跳び 二位 六車 紘

▼県新人大会

【男子】

▽トラック 二位

▽100m 二位 向原 暢星

▽200m 三位 石浦 蒼来

▽400m 二位 柳瀬宏志郎

▽800m 二位 山本 大貴

▽1600m 一位 神野 誠志

▽3200m 二位 石浦・玉越

▽6400m 二位 西尾・山内

【女子】

▽総合 三位

▽フィールド 三位

▽400m 三位 田井 彩晴

▽800m 二位 川田・渡邊

▽1600m 二位 田井・宮武

▽3200m 三位 川田・宮武

▽6400m 一位 渡邊・田井

▽12800m 一位 安藤 桃子

▽25600m 一位 田井 彩晴

▼四国新人大会

▽三段跳び 三位 田井 彩晴

▼全国高等学校駅伝競走大会香川県予選会

【男子】

三位 有住・黒瀬

神野・津山

神内・角田

笠井

▼県総体

【男子】

▽100mハードル 一位 柳瀬宏志郎

▽400mハードル 三位 石浦・玉越

▽800m 三位 西尾・山内

▽1600m 三位 武下 侃巧

【女子】

▽三段跳び 三位

▽総合 三位

▽トラック 二位

▽フィールド 二位

▽100m 三位 福島 萌映

▽200m 三位 福島 萌映

▽400m 三位 川田・渡邊

▽800m 三位 川田・宮武

▽1600m 二位 川田・宮武

▽3200m 二位 渡邊・田井

▽6400m 一位 田井 彩晴

▽12800m 一位 田井 彩晴

▽25600m 二位 安藤 桃子

〈柔道部〉

▼県新人大会

▽81kg級個人 三位 村上 大樹

▼全国高等学校柔道選手権大会香川県予選

▽81kg級個人 三位 村上 大樹

▼県総体

▽81kg級個人 三位 村上 大樹

〈ヨット部〉

▼県新人大会

【男子】

▽シングルハンダー級 一位 植野 知樹

【女子】

▽四二〇級 二位 河田・玉井

▼県総体

【男子】

▽シングルハンダー級 三位 植野 知樹

▽2人級 一位 勝田 実莉

▽4人級 一位 勝田 実莉

▽8人級 一位 勝田 実莉

▽16人級 一位 勝田 実莉

▽32人級 一位 勝田 実莉

▽64人級 一位 勝田 実莉

▽128人級 一位 勝田 実莉

▽256人級 一位 勝田 実莉

▽512人級 一位 勝田 実莉

▽1024人級 一位 勝田 実莉

▽2048人級 一位 勝田 実莉

▽4096人級 一位 勝田 実莉

▽8192人級 一位 勝田 実莉

▽16384人級 一位 勝田 実莉

▽32768人級 一位 勝田 実莉

▽65536人級 一位 勝田 実莉

▽131072人級 一位 勝田 実莉

文化部の軌跡

〈吹奏楽委員会〉

▽全日本吹奏楽コンクール香川県大会 金賞・代表

▽全日本吹奏楽コンクール香川県大会 金賞・代表

▽全日本吹奏楽コンクール香川県大会 金賞・代表

▽全日本吹奏楽コンクール香川県大会 金賞・代表

▽全日本吹奏楽コンクール香川県大会 金賞・代表

▽全日本吹奏楽コンクール香川県大会 金賞・代表

▽全日本吹奏楽コンクール香川県大会 金賞・代表

▽全日本吹奏楽コンクール香川県大会 金賞・代表

▽全日本吹奏楽コンクール香川県大会 金賞・代表

▽全日本吹奏楽コンクール香川県大会 金賞・代表

▽全日本吹奏楽コンクール香川県大会 金賞・代表

▽全日本吹奏楽コンクール香川県大会 金賞・代表

▽全日本吹奏楽コンクール香川県大会 金賞・代表

▼香川県高等学校総合文化祭将棋大会

▽団体 二位 堀内・池田

▽個人 二位 新川 壮吾

▽個人 二位 池田 壮吾

▽個人 二位 池田 壮吾

▽個人 二位 池田 壮吾

▽個人 二位 池田 壮吾

▽個人 二位 池田 壮吾

▽個人 二位 池田 壮吾

▽個人 二位 池田 壮吾

▽個人 二位 池田 壮吾

▽個人 二位 池田 壮吾

▽個人 二位 池田 壮吾

▽個人 二位 池田 壮吾

▽個人 二位 池田 壮吾

▽個人 二位 池田 壮吾

▽個人 二位 池田 壮吾

▽個人 二位 池田 壮吾

▽個人 二位 池田 壮吾

▽個人 二位 池田 壮吾

▽個人 二位 池田 壮吾

▽個人 二位 池田 壮吾

▽個人 二位 池田 壮吾

▽個人 二位 池田 壮吾

▽個人 二位 池田 壮吾

▽個人 二位 池田 壮吾

▽個人 二位 池田 壮吾

▽個人 二位 池田 壮吾

▽個人 二位 池田 壮吾

▽個人 二位 池田 壮吾

▽個人 二位 池田 壮吾

▽個人 二位 池田 壮吾

▽個人 二位 池田 壮吾

▽個人 二位 池田 壮吾

▽個人 二位 池田 壮吾

宮下

令和4年度
教職員人事異動

【転出・退職】

| | | |
|-------|-------|--------------|
| 教頭 | 松岡 宏一 | 高松東高校教頭へ |
| 教諭 | 川田 健 | 退職 |
| 教諭 | 水兼いづみ | 早期勸奨退職 |
| 教諭 | 山本 美加 | 退職 |
| 教諭 | 尾崎 慶子 | 退職 |
| 教諭 | 河合 雄太 | 保健体育課主任指導主事へ |
| 教諭 | 齋藤 秀子 | 高松東高校へ |
| 教諭 | 三木 信広 | 三本松高校へ |
| 教諭 | 西村 美帆 | 坂出高校へ |
| 教諭 | 堀尾 高徳 | 高松東高校へ |
| 教諭 | 佐伯 太朗 | 三本松高校へ |
| 教諭 | 藤澤 昂太 | 香川丸亀養護学校へ |
| 教諭 | 菊池さくら | 高松第一高校へ |
| 養護助教諭 | 大谷 祐依 | 退職 |
| 時間講師 | 菊池 和也 | 退職 |
| 時間講師 | 多田 幸雄 | 退職 |
| 時間講師 | 四宮 和行 | 退職 |
| 時間講師 | 宮武 麻理 | 津田高校へ |
| 事務 | 坂東 弘美 | 高松西高校へ |

【新規・転入】

| | | |
|-------|--------|------------------|
| 教頭 | 筒井 美貴 | 高松東高校より |
| 教諭 | 安倍 祥二 | 三本松高校より |
| 教諭 | 三枝 恭子 | 石田高校より |
| 教諭 | 岩部 祐子 | 高松桜井高校より |
| 教諭 | 射濱 有輝 | 多度津高校より |
| 教諭 | 藤澤 衛 | 高松西高校より |
| 教諭 | 橋川 宗一郎 | 採用(高松西高校期付講師より) |
| 教諭 | 葛西 陽菜 | 採用(高松高校期付実習助手より) |
| 教諭 | 中條 尚哉 | 新規採用 |
| 養護助教諭 | 池田 詩織 | 新規採用 |
| 代替講師 | 曾川 恵子 | |
| 時間講師 | 三輪 義正 | |
| 時間講師 | 川西 輝子 | |
| 時間講師 | 川東 拓斗 | |
| 時間講師 | 和田濱郁花 | |
| 事務 | 矢代恵梨奈 | 農業経営課より |

令和4年度 大学合格者数

(令和4年4月5日現在)

1. 国・公・私立大別合格者数

| 学 校 名 | 人数 | 学 校 名 | 人数 | 学 校 名 | 人数 | 学 校 名 | 人数 | 学 校 名 | 人数 |
|-----------|----|-----------|-----|-----------|----|-------------|-----|-------------|-----|
| 北海道大 | 3 | 大 分 大 | 2 | 酪農学園大 | 1 | 東京都市大 | 1 | 近 畿 大 | 24 |
| お茶の水女子大 | 3 | 合 計 | 202 | 国際医療福祉大 | 1 | 明 治 大 | 12 | 摂 南 大 | 1 |
| 電 気 通 信 大 | 1 | | | 自 治 医 大 | 3 | 明 治 学 院 大 | 1 | 関 西 学 院 大 | 51 |
| 東 京 大 | 9 | | | 獨 協 医 大 | 1 | 立 教 大 | 5 | 甲 南 大 | 1 |
| 東 京 医 歯 大 | 1 | 国 際 教 養 大 | 1 | 千 葉 工 大 | 1 | 早 稲 田 大 | 16 | 神 戸 学 院 大 | 1 |
| 東 京 外 大 | 2 | 茨城県立医療大 | 1 | 青 山 学 院 大 | 4 | 金 沢 工 大 | 1 | 神 戸 女 学 院 大 | 3 |
| 東 京 学 芸 大 | 1 | 岐阜県立看護大 | 1 | 学 習 院 大 | 2 | 愛 知 医 大 | 1 | 神 戸 女 子 大 | 1 |
| 東 京 工 業 大 | 2 | 岐阜薬科大 | 1 | 北 里 大 | 3 | 愛 知 学 院 大 | 2 | 神 戸 薬 大 | 7 |
| 東 京 農 工 大 | 2 | 静岡県立大 | 1 | 慶 応 大 | 22 | 中 京 大 | 1 | 兵 庫 医 大 | 3 |
| 一 橋 大 | 2 | 大阪公立大 | 8 | 国 学 院 大 | 1 | 南 山 大 | 4 | 武庫川女子大 | 5 |
| 横 浜 国 立 大 | 2 | 兵庫県立大 | 5 | 芝 浦 工 大 | 1 | 藤 田 医 大 | 2 | 関 西 福 祉 大 | 1 |
| 金 沢 大 | 2 | 神戸市外大 | 1 | 上 智 大 | 4 | 名 城 大 | 1 | 畿 央 大 | 1 |
| 信 州 大 | 2 | 神戸市看護大 | 1 | 昭 和 大 | 1 | 鈴鹿医療科学大 | 2 | 岡 山 理 大 | 2 |
| 三 重 大 | 1 | 奈良県立医大 | 2 | 成 蹊 大 | 1 | 京 都 産 業 大 | 13 | 川 崎 医 大 | 1 |
| 京 都 大 | 16 | 和歌山県立医大 | 1 | 成 城 大 | 1 | 京 都 女 子 大 | 12 | 川崎医療福祉大 | 2 |
| 京都工芸繊維大 | 4 | 岡山県立大 | 2 | 専 修 大 | 1 | 京 都 薬 大 | 7 | 就 実 大 | 5 |
| 大 阪 大 | 21 | 山口県立大 | 1 | 多 摩 美 大 | 15 | 同 志 社 大 | 93 | 清 心 女 大 | 4 |
| 神 戸 大 | 15 | 下関市立大 | 1 | 中 央 大 | 15 | 同 志 社 女 子 大 | 4 | 安 田 女 子 大 | 1 |
| 奈 良 女 子 大 | 4 | 山口東京理科大 | 2 | 津 田 塾 大 | 2 | 立 命 館 大 | 101 | 広 島 国 際 大 | 1 |
| 和 歌 山 大 | 1 | 愛媛医療技術大 | 1 | 東 海 大 | 6 | 龍 谷 大 | 8 | 徳 島 文 理 大 | 6 |
| 鳥 取 大 | 1 | 北九州市立大 | 2 | 東 京 医 大 | 1 | 大 阪 芸 大 | 2 | 松 山 大 | 3 |
| 鳥 根 大 | 1 | 九州歯科大 | 1 | 東京慈恵会医大 | 1 | 大 阪 医 薬 大 | 5 | 福 岡 大 | 2 |
| 岡 山 大 | 26 | 合 計 | 33 | 東京女子大 | 2 | 関 西 大 | 31 | 海 外 の 大 学 | 2 |
| 広 島 大 | 12 | 防 衛 大 学 校 | 3 | 東 京 理 大 | 14 | 関 西 医 大 | 1 | 合 計 | 564 |
| 山 口 大 | 1 | 防衛医科大学校 | 2 | 日 本 大 | 1 | | | | |
| 徳 島 大 | 9 | 合 計 | 5 | 日本獣医生命大 | 3 | | | | |
| 香 川 大 | 41 | | | 日本女子大 | 3 | | | | |
| 愛 媛 大 | 5 | | | 日本女子体育大 | 2 | | | | |
| 九 州 大 | 9 | | | 法 政 大 | 9 | | | | |
| 九 州 工 業 大 | 1 | | | | | | | | |

2. 国・公・私立大学学部別進学率(%)

| 学 部 | 文 外 語 社 会 | 法 政 治 | 経 済 商 | 理 工 | 農 林 水 産 | 医 歯 | 生 活 科 学 | 体 育 術 | 芸 術 | 教 育 | そ の 他 | 合 計 |
|-----|-----------|-------|-------|-----|---------|-----|---------|-------|-----|-----|-------|-----|
| 計 | 17 | 14 | 12 | 4 | 20 | 9 | 11 | 4 | 2 | 1 | 6 | 100 |

◆◆◆◆玉翠会員から図書館への寄贈図書について◆◆◆◆

| | | |
|---------------|---|----|
| 山崎 敏秋氏(昭37年卒) | 『戦国キリシタンロレンソの光芒』 | 1部 |
| 植田 隆子氏(昭46年卒) | 『新型コロナ危機と欧州』 | 1部 |
| 木村 伊量氏(昭47年卒) | 『私たちはどこから来たのか 私たちは何者か 私たちはどこへ行くのか ー三酔人文明究極問答ー』 | 1部 |
| 岡田 瑳久氏(平9年卒) | 『まっすぐな遠まわり』 | 1部 |

令和3年度 東京玉翠会より寄付金100,000円をいただき、下記の図書を購入致しました。

一冊でわかる アメリカ史 他 25冊

絵本ピーターラビットシリーズ 全23巻

計84,026円

高松高校図書館

令和三年度

令和四年四月三十日現在

会費納入者

旧職員

安部勝雄、天野篤、池西裕、石井睦啓、出射隆文、浮田清市、岡田收司、鏡原壽、木村斉、久米正篤、小松昭夫、杉岡保之、中條孝則、筒井優、長尾裕隆、中野望、畠山敏明、真鍋達雄、真鍋正明、三谷敏雄、宮西比呂志、本澤大弘、山内康照

高 中

昭一 野口吉美
昭二 細谷寛
昭三 村井進
昭一五 川崎正明、左達史朗
昭一六 福家幸二
昭一七 塩田治雄、田中貞三
昭一八 鍋島綾雄
昭一九 北島千里、森博直、安岡正温、吉武秀夫
昭二〇 (五〇回) 大津新平、小川純、木内正夫、山口惇、渡邊典雄
昭二〇 (五一回) 入谷啓一朗、萱原博美、黒田貴芳、柴野照博

昭二一 前田勇、真鍋舜治、水野俊夫
昭二二 池内英夫、玉川和隆、藤澤龍一、向井正儀
昭二三 綾田修作、川越裕也、佐野宏哉、村川正良、若井亮一
昭二四 小松信幸、中條利祐、原哲三、藤本孝雄、丸吉幸也、吉野頼寿

晩 翠

昭 九 宇多田英子
昭一〇 細谷ヨシ子
昭一一 宮脇登美子、吉田安子
昭一二 高徳多美子
昭一六 尾方光栄、笠井愛榮
昭一七 綾英栄、川崎二三、逸見治枝、松原キヨエ、村尾幸子
昭一八 赤沢芳子、池田喜美恵、上原祚子、熊野弥生、櫻

又フミエ、中田文子

昭一九 青木富美子、岩井晴子、太田清江、國方寿子、里野美砂子、高松延子、中西良子、脇和子
昭二〇 (五) 芦沢カズ子、神原郁子、桑内道子、佐々木結子、妹尾秋子、玉岡敏子、梅村珠栄、山代苛津子、若松美代子

昭二〇 (4) 大山禮子、加藤鎮子、佐藤貴代子、高木清子、中山容子、波多和代、八田明子、松島千代、三谷次子、山田洋子、吉原千香子、渡辺たま子
昭二一 安達恵美子、伊藤ヒサエ、植田美重子、大鹿節子、神谷順子、川下郁子、河野桂子、重村雅子、中村玲子、成瀬トモ子、西山恵美、長谷部みちよ、廣瀬芳子、古市寿子、堀川幸、藪内信子、山崎朝子、吉野登嗣子

昭二二 井内菊代、岡崎富枝、岡本良子、高嶋桂子、筒井喜代、西尾信子、藤原寿子、宮崎照子
昭二三 穴吹暉、伊藤悦子、岡民子、岡田町子、加藤京子、鎌田良子、上館須賀子、小林照子、菅原節子、田尾敏子、高嶋和子、瀧野八重子、常谷俊枝、鶴見ツタ子、出口ツタエ、東原美代子、増田美智子

昭二四 (女子高)

岡久美子、岡部澄子、中塚綾子、蓮井和子、八田恵美子、久本ミユキ、福田文子、星野昭子
昭二四 泉川壽子、泉川良子、坂坂恒子、内田民子、上井茂子、木村晶子、河野孝子、小西道子、小林友子、佐々木慶子、渋谷澄枝、志村澄江、菅原礼子、鈴木伸子、関本豊子、竹島頼子、武田節子、多田幸子、玉城玲子、辻幸子、真鍋温子、宮武久子、安田道子

高 高

昭二五 朝岡卓見、井原昭三、今長谷見沙、岡督二郎、岡田正宣、尾形弥生、片桐チツ、河西孝信、木村貞寧、木村崇也、木村寿美代、国方勝、斉藤尚子、阪本香子、佐藤清子、多田栄、多田幸男、立川重彰、田中敏弘、筒井勝義、鶴居健、戸澤清行、久住泰司、平見芳和、藤岡正善、堀田一義、堀正和、植塚安得、町川洋三、松村和男、宮武孝造、山口功男、山本竹彦、渡部和子

昭二六 青井信、赤松貞子、浅田宜仁、安部琴美、伊賀智壽子、石丸芳孝、磯部祐子、稲田公仁、井上之、岩田和哉、上埜テルミ、植原守雄、大須賀選、太田英章、大林淳子、小國照子、雄倉孝尚、大佛和子、大比賀友喜、小比賀貴美子、香川勝、香川貞子、梶富喜子、川越久子、川西康男、冠野孝子、北島定子、木下文夫、木村道夫、國宗啓子、久保あけみ、小林克己、小林美代子、酒井玲子、櫻井文栄、七條昌一、篠田茅子、島田美津子、木澤

正則、竹島十三子、多田志ず、田中博子、谷穀夫、谷本エミ子、樋端展子、富岡慎一、富山弘子、中北恭子、中野圭子、永野和世子、中村咲三、灘波文子、西村慧子、根岸茂、野村美栄、初瀬保子、葉原耕平、濱田弘子、板東節子、深田由紀子、藤田喜子、蒔田美智子、松本利夫、真鍋ヒロ子、三木宣子、溝渕悟、六車幸子、山名昭恵、吉野宗、和良地みさ子、安田秋雄

昭二七 明石多美子、朝江美恵子、井川久之、池内皎隆、池田乾一、石津則子、泉谷淳子、今澤暉子、今田寿子、入倉満、上坂小夜子、大浦廣子、大久保弘弘、太田一彦、大谷寿恵、大塚寿子、大西久美、岡義男、岡野博通、岡本節夫、長船瑠子、柏原利衣子、算双子、勝又忍恵子、角陸正健、金井孝文、北岡貴美子、北山睦往、木下治代、木村栖子、木村多美子、熊谷慶子、栗山明子、桑島幸子、小島徹、小西益二郎、坂口弘子、佐々木史朗、真田誠一、塩田賢治、塩田富美子、高橋正、高松一幸、多田幸子、多田昌弘、田中健吾、谷野瑞代、谷本久美子、田村日出男、土田孝栄、長尾薫、中村康子、仁木圭子、西浦正子、蓮井玲子、長谷川順子、濱本藤夫、林越幸、平畑博敏、廣瀬朔子、藤島克子、堀池進、堀家正、松原大子、水嶋浅孝、水野久子、水野道代、皆黒未知代、三村祥子、三宅美智子、宮武陽子、宮地昌子、三好幸子、村尾シズ子、敷木英俊、山口芳子、山下祥治、山本良子、山本洋子、吉田正、渡辺潤一、内海彰子、久保和子

昭二八 青木泰子、青峰徹、浅田正夫、天野彰、荒木靖、池田孝、井上洋子、今岡哲雄、岩佐志津子、朝紀子、太田宜子、大塚裕康、大庭珠子、大畑峯子、尾形嘉紀、小倉典康、落合佳子、香川勉、鹿庭緑、加宮由登、萱原洋子、川口春陽児、木原昌彦、木村典子、窪田紀子、小嶋治男、小谷主子、児玉正豪、児玉昌子、齋藤敏夫、迫田義昭、真田登茂子、塩谷智恵子、昌司照雄、白石典彦、木澤富美子、須賀原幸子、鈴木新子、関谷聡子、造田純代、十河弘、多田信夫、谷隆夫、鶴川舜一、寺田邦子、寺林悦子、永井正敏、長尾久子、中島倫子、中村千恵子、西田節子、野正照美、浜垣勇、平田實、福田隆育、細谷誠、堀池和子、前川初枝、増井清子、増田祥子、町田照代、松本美津江、真室哲也、宮本寛治、村上瑛子、毛利滋、森昌博、森恵洪、山下敏子、山西守、横田大和、吉田留美子、高松千鶴子、村上雅子、真鍋義昌

昭二九 浅田峯子、井川和子、石橋治、伊丹泰子、今治幸子、岩崎恭子、氏家弘子、漆原英子、江口昭彦、大熊明子、太田幸子、太田怜子、奥村勉、雄倉幸昭、加藤伶子、岸本佳寿子、熊善一郎、薦田快公、阪下美智子、佐藤正美、佐藤靖子、篠原緑、新谷鈴子、杉原史子、高橋等、

田中澄子、都村忠弘、土居邦子、永井眞智子、中川美代子、中村成子、中村敬子、長谷川汎、東原康雄、福田哲夫、福西久好、福家知子、藤井和代、藤本克子、藤本方子、二川正之、間島豊、増井邦彦、松永富美子、真鍋浩三、真鍋千賀子、三浦昭子、三木彬嗣、三木和子、三嶋美智子、三好良子、宗田純子、村上民子、安松玲子、山口元子、山地由子、山田勇、山田久雄、吉田晃、和田弘子、辻敦子、藤田孝栄、松崎淳子、青木千夏子、大林正敏

昭三〇 秋山夫佐子、浅野道子、穴吹イソエ、池添善山、泉川嘉輝、井本英子、植田明、植松修三、遠藤俊一、大沢一子、大林弘子、大森典子、岡田美子、加宮利貞、川西清、木村真、黒川数子、佐立弘子、篠原俊一、白井勝子、末澤進、鈴木靖子、角田晴信、武田睦、田中千種、辻孝夫、鶴尾章、富野節子、豊田治、中障子不二子、中橋喜久子、中村博實、西井戸惇子、西岡喬、原田佳江、坂東富美子、平尾和子、平田祥子、福田尚子、福家皎、藤原洋子、堀川康子、前谷亮三、増田猛、松井昌子、松井慶子、松岡陽一、三谷浩一、源淑子、箕輪圭子、宮武正、宮武寛、宮本宣明、村山守信、森井晶子、森下一仁、横山保子、吉川孝、吉本照子、渡辺澄雄、尾崎富子、国土美美子、藤田一郎、古川利夫、山下一盛

昭三一 池上宏、井岸喜久子、石濱和子、泉川繁代、井上靖彦、井上和子、上野富美子、植松武彦、鶴川英、大喜多公子、大熊敏彦、大崎凡二、大坪浩、大西孝一、岡野道生、学坂邦彦、織田昭、小野朝子、垣田亮治、笠井省三、片岡浩一、加藤徹、角谷實、狩野七子、河合功、神原博、菊池洋子、木下久美子、木村孟、久米伊久子、倉田康男、栗永中和子、黒田道子、香西泰彦、香西幹夫、香西壯祐、古賀英子、佐々木敏子、佐竹正博、佐野喜代子、篠原明子、柴田欣男、下山順子、白井治、新名弘康、須賀敦子、田岡典子、高木美博、高嶋和子、高原尚子、田中早苗、田辺幸範、谷塚二、谷口陽子、中條安雄、中條康夫、粒来美智子、鶴野晴美、寺内和子、長尾マリ子、中川和代、長町昭子、中山信之、西川勢津子、西村和雄、西本綱三、西脇美重子、橋丘夫禧子、原節子、樋口正明、久松節子、平井茂子、藤澤敬子、逸見正造、星川美智子、細田淳雄、松尾伸郎、松尾景子、松本宏、松本澄夫、眞鍋恭子、溝渕孝雄、宮武敏夫、宮武茂行、村井弘委、山川崇、山崎敏輝、山田光彦、吉川和子、吉野文子、吉野正良、木村允子
昭三二 秋山充子、浅野廣子、足利昌子、池添眞砂子、井上旦子、今井輝子、今岡重夫、今松順子、上野美津子、鶴澤敬子、牛尾矩子、遠藤忠知、太田武夫、大塚順子、

大西綾子、大瀨圭子、小笠原坦、小田原満知子、梶河正孝、櫻野弘子、加藤悦也、鎌野孝和、川崎妙子、川谷幸子、河西善三、木島京子、木村宗佑、久保田玉枝、久米哲雄、合田重子、後藤武俊、後藤正樹、小西靖子、佐伯勉、塩梅若菜、塩見宏子、四宮茂章、島田勝男、杉本静江、高橋朋子、武田七郎、龍田玉子、田中伊都世、谷川照、谷澤田鶴、地下洋、飛谷高照、豊田武則、鳥居三知代、中筋信二郎、中村咲香、中村利寿、西浦雅子、新田美千子、秦弓楓、波多野光子、花崎良政、濱田清、藤井人志、藤田恭子、伏石和美、松島明子、松本俊司、松本邦子、三谷清子、三野正博、宮本宣博、三好守真、村上征一、村上由美子、本岡和光、森田健一、森田幸子、森山義政、柳澤啓三、山川早苗、山崎可壽子、湯沢啓子

昭三三芦原義介、天野勢津子、綾野仁嗣、安西典子、池尻治、石井全、今澤一恭、井宮秀明、上野文夫、植村登、臼杵貢江、大岡絢子、大久保秀典、太田英子、大捕宣英、大西晏、大林紀久子、大村晃子、大森恭子、岡崎進、岡野俊樹、岡野道子、岡本政俊、芋坂よし、金子和裕、河北晏矩、川添勲、河原忠一、神辺俊郎、北浜章子、木村栄二郎、国方康博、久保勲、久保正範、桑名芳昭、小西淳二、近藤正、佐々木成忠、佐藤弘子、柴野孜、瀬藤利生、相馬花子、十河靖子、高島邦彦、高橋久代、高山信行、田中保夫、谷本正彦、谷森勉、田村大司、千葉節子、中井道子、長尾敬子、西岡亨、長谷川勝子、原田純、原田貴弘、平田喜一郎、平野数夫、廣瀬彰彦、藤村武子、藤本良志美、二川文一、古市征、古川登代美、前川勲、前田道之、真鍋光広、間宮淳子、丸岡幹二、三谷純子、武藤満雄、森本肇、八代紀子、八十川眞二、山口興平、山田裕規、湯野寿也、吉岡崇、吉田陽彦、渡邊謙、片山由美子、組橋恭子、斎田仁美、佐野紀子、伏石誠子、藪木公子、横関紀久子、玉木寿美子、吉田泰子

昭三四明田繁美、安藤知子、池桂、池田一昌、石田曙光、石原英輝、井上俊一郎、井上リエ子、井上富美子、上田和子、太田孝、大谷忠、大野由美子、岡本徳子、尾崎信子、梶野茂、香月桂子、加藤祥子、鎌野幸子、鴨田昭代、河合洋佑、河瀬一紀、喜多俊雄、木原文太左右衛門、國宗達旦、河野一郎、近藤敬司、斎藤雅美、三枝基、坂野士奈女、佐竹睦子、佐藤薫、塩本宏子、品治重忠、柴原力、渋谷宣隆、清水美智子、城後慎也、杉喬、関根和子、曾川邦子、十河智江子、高橋美也子、高橋紀代子、竹内章雄、伊達和子、手塚裕子、土居英樹、土井弘子、豊田郁子、中谷浩三、中村裕恵、名合智子、鍋田佳子、西山要、東川澄清、東川郁子、樋口順一、平井伸也、平澤弘美、福家俊男、藤井照芳、藤本公博、細川治、堀家敏弘、

牧野豊、松本英幸、真鍋武紀、萬谷健二、三崎屋義正、三栖洋児、宮川栄之助、宮田雅子、三山雅敏、宮本圭子、村上雅子、牟禮浩子、森岡令和、矢野隆子、飯内捷文、山本正雄、横井敏幸、吉野紀代子、渡辺修、渡邊恵子、村上博

昭三五青木喜美子、秋山欣子、綾野親徳、安藤瑠美子、伊賀尚志、伊賀静代、池田史子、池田直樹、石田守正、泉文隆、伊藤保恵、伊藤吾吾、糸見幸代、岩井和子、印藤孝彦、上原繁美、植松節子、大川治子、大木幹夫、大坪和彦、大西大介、大西信子、大室和代、岡俊一、岡三喜子、岡崎旦、小笠原武、小笠原尚子、岡田國義、岡田雅子、織田久美子、小野利明、小原文子、笠井邦彦、笠井ミヤコ、片岡章、加藤鏡子、鎌田毅、鎌田進一、鎌田隆、鎌田英信、加宮恵美子、河合英幸、川口正之、河田俊彦、神原純子、菊池洋子、岸田豊江、木下進、木下榮一郎、木村学美、木村勝紀、国金庸夫、國宗孝雄、柞原俊孝、熊田文江、倉本久美子、栗田昂、黒田泰弘、河野章子、国生徹、児玉皓次、児玉秀正、駒松健、斎藤寿良、酒井典子、佐々木史朗、佐藤彰男、三田喜代美、柴田輝男、修理輝男、城山和代、白坂壽子、末澤功、末澤玲子、図子知久、ストラッサ節子、世羅義昭、蘭浦政勝、田井朋子、高崎浩敏、高嶋克洋、高杉千瑞子、高濱孝、高原徹、武田善行、伊達博、谷沢一朗、谷原昭子、谷本朋子、谷本美那子、谷森圭子、玉越公智、田山棟信、團野恵子、中條和臣、土屋美子、鶴尾公子、土井伸一、豊島雄一、豊島英俊、豊島徹、柄折慶子、富永千恵子、豊田章二、長尾綾野、中川道子、長嶋ヨシエ、中野紀子、中村昇、中村恒章、中村美千代、中山幸子、西本功子、西吉利裕、秦英樹、浜谷文保、浜本俊一、平地嘉子、藤井雅義、藤井英世、藤本孝一、藤田紘美、藤本征機、藤本定斗支、藤原典雄、二川浩三、星野登美、堀田健治、本田道明、増井武彦、増田恵美子、松本恭一、松本信、松本修二、松本孝子、真鍋敏毅、真鍋禮男、溝川陽子、三井勲、三野安、三村良弘、三宅治美、宮武正隆、宮武秀夫、宮武哲、宮本仁美、向井輝彦、元久正美、森山亮、山下俊次、山科桂子、山田勝、山田泰三、横山邦子、和田脩、池田修

昭三六青木博美、浅田昭、芦原睦子、足立宏美、穴吹洋幸、安倍惇、荒木統、池田正実、石原優子、市原功、井上浩二、岩村清志、植松登志子、植松芳哲、宇賀美代子、江村美光、大川元臣、太田幸子、岡奎子、岡興久、岡順子、岡田佳代子、越智美子、小夫淳示、鹿兒島鐵子、片山重正、鎌田基志、鎌田美枝子、釜野智裕、鴨川尚史、木下忠雄、木村和照、木山昭栄、久保正篤、桑島美、河

野芳之、小嶋武士、五ノ坪恵子、小林孝良、小林忠子、近藤洋子、佐々木ウタ子、佐藤芳久、篠原茂信、四宮靖三、四宮美江子、神内好伸、陶聡子、杉山義武、瀬戸厚子、高木久美子、高橋良忠、滝洋一、竹田昭雄、多田博美、多田哲子、田中曉子、田中欽子、千切谷多一朗、辻勇、津田健二、堤啓、寺竹幸子、徳永孝明、飛田久子、飛谷節子、中村敬、中村照美、西村博、花岡清子、馬場圭子、原洋子、藤本良子、細川修吾、前田葉子、増田徹也、増田昌三、松尾美智代、松岡重子、松沢尚子、松下好博、松本英伸、松本保子、真鍋尚義、真鍋宣子、真鍋芳美、三澤順子、三好紀子、村杉喬、森祥子、森混子、谷内田一忠、矢部敦子、山地正彦、山添悦子、湯藤美千代、吉武泰俊、與田康子、渡辺寛、和波保、多田義博

昭三七秋山建樹、荒井信子、安藤正道、伊賀淳、市原洋美、猪又清之、漆原澄子、大崎弥枝子、大須賀誠、大野毅郎、岡崎洋、岡本房子、小川和彦、小国昭、小野泰子、織田公子、香川暢也、片岡勝子、金田清臣、鎌田結志、喜多克幸、北泉洋子、熊敏彦、久米修三、桑名信雄、五井修子、香西敏、後藤伸雄、小松義照、近藤俊子、斎藤司朗、斎藤尚則、澤村田鶴子、塩田洋、塩津俊幸、神内美美子、神保昭子、杉内克己、鈴木郁子、千野昭代、高尾義介、高濱信之、高松薫、高宮誠、竹下那彦、立花広海、谷川宏、玉置正、辻勝子、鳥居昌子、鳥飼鮎、長尾榮治、長尾幸夫、長滝秀信、野崎敦夫、幡英一、幡多茂樹、林越則昭、広瀬健次、福島正信、藤澤峻、藤村祥一、二川尚子、船尾桂子、古澤恵紹、細川昌美、壺江正志、松岡博昭、松崎弘美、松本芳樹、三原弘子、宮北昭彦、三宅加代子、宮武邦夫、宮野明子、宮本盛規、宮脇和夫、村上誠一、森忠彦、森勝子、森峯子、森田順子、山内康生、山崎敏秋、吉田雄二、吉田育代、和木典子、和田秀子、渡邊美智子、鹿嶋忠明

昭三八朝國太啓子、荒井瑞代、石川喜久、石橋紀明、石原久子、和泉英彦、今岡幹典、岩倉信子、岩嶋樹也、上原久子、植田重則、上田英敏、内海茂男、太田光則、大西宏子、大橋公子、岡田幸子、岡部敦弘、小川実、柿原紀美子、梶村正俊、鎌田邦来、鎌田孝子、北角幸弘、吉瀬祥子、楠知子、後藤節子、重松麓、新谷勝廣、神内邦隆、薄田栄子、須田勉、十河泰子、田井稔三、田岡聰、高井紀代、高木宣子、高橋修一、高橋昭子、高橋悦子、高松洋、田阪武夫、多田奉子、立山真浩、玉城哲子、竹馬輝子、辻義人、東条寿男、西井純子、袴田邦子、原田正文、廣田一機、廣田正子、富士三千子、福家守、福家正博、藤岡勢都子、藤沢晶、藤田雅敏、二川俊秀、松本秀三郎、真鍋慎吾、真弓哲二、丸岡操一、水本尚、宮北

幸、宮武正明、三山恵、宮脇美子、三好尚武、向井友一、元木碎香、森茂昭、森川信子、森田紘一、山谷幸男、吉田莞爾、和田かず子、渡辺トシ子、石川洋介、常谷忠克、中山哲子、前田勇

昭三九赤澤寛幸、明日正則、東時子、池田駿介、植村正子、遠藤啓吾、遠藤顕子、大西興二、大西昭宏、岡健、岡田誠、小川道子、尾崎修敬、小畑美智子、小比賀俊彦、片岡眞二、河西和江、桑井政信、小磯智恒、香西祥子、小塚照美、齋江知、齋藤壽彦、佐古昭代、笹川滋、佐竹勝利、塩田嘉明、重松純子、渋谷崇子、須田嵩、造田佳津子、高田等、武田一憲、田中和美、千切谷真澄、寺尾眞樹、中井徹、中井護、中西登紀子、長町典夫、西川正樹、蓮井直行、蓮井愛子、蓮井加代、濱本貴美子、原田美由紀、平池秀子、藤川吉洋、藤川幸子、藤原一俊、堀利匡、増田恵弘、松田美也子、松永紀子、松本勉、松本勝行、真部利広、三野安意子、宮北薫、村井恵子、山下祐一、山地正克、横田豊、吉岡郁子、吉田雅子、吉原哲也、和田朗、常谷香代、米津照夫

昭四〇赤松葉子、穴吹和士、穴吹貞文、伊賀豊和、石川眞澄、泉谷武信、伊原本久美子、今上茂樹、岩瀬雅宏、岩藤昌樹、臼杵季典、大川直澄、小河孝則、小野スミ子、小比賀曙美、片山曉子、菅原徹男、河田マリ子、神野隆志、北坂典子、栗林伸碩、香西真弓、後藤康生、後藤正徳、小西恵昭、斎藤喜久代、品治純子、高尾佳己、高見政己、高見純子、詫間敬芳、竹本正憲、多田文雄、谷本義隆、玉越美雪、千葉昭、土屋博子、堤康、角田朝則、寺尾卓、遠山誠司、徳永信子、中井敬子、長崎壽子、中西かをる、中野美恵子、長野新一、中山隆司、中山惇、名和昭子、西田耕治、西原浩、西村弓乃、乃一裕、野口章男、八田光、平尾耕三、福井義喜、藤川行江、邊見敬三郎、前田みどり、舩形勝、松岡睦子、松田滋明、松原珠実、松本百合子、湊唯義、三原衛、茂中淳一、森本雅栄、森山敏子、八十川紀夫、山下美智子、山田義雄、湯藤隆司、吉田穂束、渡邊節子、坂東マサエ

昭四一赤沢武基、明石豊重、穴吹久子、荒井るみ、岩田喜美枝、岩村わか子、浦川建一、江郷知己、大谷俊子、大西利喜子、大瀧義幸、大藪修二、岡悦子、小笠原敬三、岡田千昭、岡田憲政、岡本敬子、萩田耕三、奥田哲哉、小田レイ子、折坂義雄、榎原正也、加藤英子、金尾光子、金子正光、蒲田雅子、鎌野昌司、河口三枝子、河瀬知子、川田清彌、川南節子、木下俊子、日下瑞子、楠聡文、久保稔、久保田ミワ、桑島治子、香西幸夫、合田吉徳、河洲八重子、小西博子、小橋克彦、近藤秀樹、坂口昭子、佐藤知子、佐藤修二、七條益代、志摩靖子、島村久美子、

白取美由記、杉上彰、鈴池典子、鈴木清子、砂川敏文、関根建一、孝岡弘子、高田敏也、高橋博之、高濱安文、高宮あゆみ、高山桂一、武内滋、多胡護、多田則明、多田雅子、田附高、立野省一、田中利彦、田中陽子、谷原朱美、田村貞雄、田村真美子、彈正原寿美子、筒井順子、鶴見邦夫、天雲恭彦、土居徹、登那木悦子、富田朱美、仲下京子、中原きよ子、中村秀明、中村弘、中村陽子、中山艶子、灘波章、西川一夫、西村良治、野口吉秋、浜坂保治、原京子、東原憲子、広瀬政恵、広瀬護治、広瀬幸子、福井勲子、福家智美、藤澤淳、藤野裕子、藤本彰二、二川和彦、別枝隆、堀亮子、堀井茂男、本津孝幸、松井美美、松浦典代、松本一路、松本信吾、松山千恵子、真鍋登代子、真弓研介、萬谷嶽典、三浦卓二、三木知子、水落邦子、溝淵利博、三橋朝子、箕田俊介、宮崎哲雄、宮崎一郎、宮崎高子、宮下慎一、宮本輝夫、宮本富夫、宮脇良秋、六車正章、村上克己、牟禮明、森茂樹、森知子、安原ルミ子、矢野恭治、矢野博昭、山崎三十子、山崎律子、山下民子、山田智、山田潔、山本一郎、横田ひとみ、和田秀穂、森川輝男

昭四二

昭四二 明石陽子、池内巧、池田文明、池田茂、石橋真知子、稲田順子、稲田和則、井上協典、猪子順、岩崎敬子、岩嶋修治、岩田好範、岩本悟子、上野廣子、朝修二、恵比須忠、大坪美知子、岡島勉、岡田はる子、小倉マリ子、芋坂達文、織田靜信、香川茂雄、香川マサ子、梶村恭子、片山博親、鎌田町子、川西進、河本彰、木谷紀子、熊野清、桑井純一、黒川秀子、小磯修二、古木俊雄、佐々木正博、佐竹和子、佐藤修、佐藤加代子、佐野八重子、重成憲裕、品川直介、隅田和子、十河喜代、高嶋博、高橋敏美、田原清美、田伏繁晴、対馬健三、手島洋一、中井敬一、中尾正喜、中土成子、中村芳正、新谷充則、橋田敏子、波柴幸子、橋本幸久、馬場康史、原田俊、平井陽子、平尾準一、平川峰子、福島正行、藤澤哲夫、藤田万久、藤花康子、二川正志、堀上さえ子、前田道宣、前田直俊、前田恵子、前田糸子、植田實、増田佐由美、松浦利行、松岡修平、松野芳則、松本隆茂、松本学、水本節子、皆川鈴子、宮武秀俊、森一真、八尾房代、山形久美子、山本直樹、横手朱美、植條清美、岡田久、柏原俊治、毛利成一

川崎達夫、川畑省三、喜多悦子、北原信子、北山忠善、鬼無律友、木村安男、久保陽子、桑田淨伸、小坂悦夫、小西洋子、斉田光則、七條政志、十河泰司、大師堂清美、高岡英治、高橋久子、詫間行芳、多田和照、田中恵、筒井伸司、常谷憲、坪井俊樹、津村潤治、土居正博、永井博行、中野百合子、永峰典子、中村敏雄、中村谷年威、成瀬豊久、新谷富子、二宮信治、野上平子、蓮井茂幸、秦和也、林計治、林聖三、原田洋子、平尾美子、平山隆子、藤沢讓二、藤澤福子、藤田壽子、藤村勇、古澤幸夫、別枝修、星野次永、細川壽美、堀家みどり、前田巧、松島孝信、松見涼子、真鍋信行、溝淵寿一、溝淵博司、溝淵敬子、三谷千尋、宮地節興、宮脇範次、矢野裕子、山上英司、山上明子、山下明、山本二平、山本道子、吉田良順、吉本泰三、頼富節子、渡辺純子、野網省平

秀世、西岡千鶴、西川和裕、西川知子、野崎孝枝、原田育枝、福西敏浩、藤原裕子、古川健造、別所博子、松岡正己、松岡幹雄、松家由岐子、松垣富美子、眞鍋和人、三浦雄二、三木祐子、向井幹雄、村山正俊、森岡眞治、森川一弘、森田知恵美、安岡淳一、安澤和彦、矢野年紀、吉田恭典、吉村純子、米沢基子、渡邊智樹、渡邊寿磨子、渡里幸平、川下幸夫

林義隆、久本吉亮、福嶋哲弘、福家聖剛、藤枝好、藤田和志、藤田光代、古市哲也、堀祥二、松田よし子、丸谷照代、水杉好子、美馬祐一、宮本幸治、宮本吉明、宮本陽子、宮脇誠、森秋文、柳田りょう子、山口純司、山下友子、山地芳和、横山美登里、渡辺雅子、川原一芳、窪田良次、十河憲夫、富永信彦、永井崇雄、畠山茂毅、藤本美智子、松木孝之、真井邦晃

昭四九

昭四九 東雅之、安藤千代、伊賀和之、池田和真、石田謙作、臼井俊文、大饗由之、大西直恵子、岡内伸介、小川哲郎、加藤昭彦、川西寛、北村篤孝、木村守、久保睦子、佐瀬洋一郎、鈴江ひとみ、高桑名保美、高山もと、武田英昭、田島朋子、多田幸雄、谷本一成、天雲悦代、土居邦壽、中島延淑、中島玲子、西原義和、野村充伸、林恵、平田芳廣、福田安伸、本川一善、松延秀一、松本淳子、三好和幸、三好久美子、守谷健弘、山下誠志、中条良則、三宅敬二郎

昭五〇

昭五〇 朝原周一、穴吹善範、有賀秀治、池田育嗣、池田朋子、井上康、今滝知子、大内典子、大角京子、大西葉子、大林直嗣、岡崎功、岡山栄作、奥村康夫、河辺亮、神邊節子、菅野正朗、岸本直子、桑田敬子、河野美智子、小嶋唯司、近藤延子、佐藤暢、柴田節、修理伸一、菅原香代子、隅田啓、武田伸二、辻上寛美、土居葉子、徳広信也、豊澤佳弘、名尾和広、長井啓介、永留三恵子、野田京子、萩本豊、萩本佳美、萩森康史、橋本香代子、蓮井宏樹、日吉孝夫、藤田次郎、淵崎正弘、逸見美千代、松田圭司、松本俊一、見市昇、港義弘、南埜希代子、三好智次、元山賢治、矢野充範、山村雅彦、山本徳洋、和田孝子、和田邦子、住合眞、中条博子、板東靖人

昭五一

昭五一 青葉典子、池井暢浩、大西ゆかり、大林實温、川原央、菊池和也、木下雅文、楠瀬昌作、桑嶋正寛、後藤緑、小西裕美子、櫻又浩、佐藤涼介、杉山洋子、高崎真治、高橋洋子、滝川稔、田窪克久、武内一、田中佳利、谷川修一、富田弘明、中村正則、西岡牧子、埜中玲子、平尾直子、平野郁子、福家みどり、福江昌子、福田陽一、細谷芳久、溝淵祥民、三野植男、宮崎真二、宮崎恵子、山口朝美、山田徹、山本博司、利藤男

昭五二

昭五二 阿川昌仁、天野盛資、綾田智子、石川高英、市木研、伊藤高、井上耕一、岩井孝子、植松健、大島由加子、大塚康正、大野直子、大森明子、岡秀樹、岡博史、岡史朗、龜山祥子、神崎俊、合地仁美、佐瀬龍次郎、佐藤麻由美、塩田昭弘、新名孝司、千野みゆき、高木佳美、高橋伸治、高橋由美、竹内明美、辻上敬子、富田久美子、永峰伸一、西山淳一、濱川喜巨、林美千代、林充代、原内大作、藤澤一郎、北條ひとみ、米谷隆雄、松田欣末子、

三木武司、三島義之、溝内正康、三谷泰司、宮武礼子、宮脇誠、森康代、山田光一、横山一郎、吉田悟、和田晃尚、木村吉宏、五嶋孝博、佐竹一郎、多田羅衛二、中村諭二、山本修平、丸吉洋子

昭五三青木英晃、石原玲子、泉州かほる、臼井由美、梅津裕美、小川聡、河合哲夫、北山明彦、木村庸子、清谷守之、小佐古博史、小谷景子、佐々木一乗、佐藤良二、住山喜昭、十河裕之、十河千穂、田岡英明、高島寛之、竹内啓子、多田野有司、中井達郎、灘波博司、沼原利彦、広瀬友彦、藤本邦人、藤本幹子、麓泰紀、松原幸子、宮崎俊也、宮下裕志、森明史、森泰藏、山口弘信、横山徹、吉川正美、渡辺裕之、池田義、関元直登、佐々木允子

昭五四青柳佳枝、浅藤典男、穴吹久仁、安部忠明、石井浩之、石谷誠、今井万里子、大倉朗人、大出茂晴、大西宏明、大原昌樹、押野雅史、亀井智子、木村重之、熊澤毅彦、齋藤真喜子、佐々木浩之、佐々木悟、佐藤哲也、島津昌代、庄村敦子、杉村隆、助吉建彦、須田邦男、砂山豊宏、関谷利裕、多賀朱美、高岸浩子、高崎智子、高橋雅直、高橋佐知子、多田栄三江、多田野友美、豊澤徳子、長尾正樹、中西良典、馬場哲也、平尾宏、藤澤明彦、藤澤佳子、藤澤伸子、豊後雅巳、細井恵美子、堀内政信、堀内尚子、榎野浩司、松延健二、の場陽子、三日月加奈、森川一幸、山口裕規、山本一郎、横井健治、吉本睦、RUTZ美香、渡辺稔

昭五五秋山弘樹、秋山佳子、安宅比呂美、池田康彦、石濱英暢、植松浩美、永正千里、亀井正好、亀井可奈子、川田健、楠瀬文生、桑島洋子、香西新五、香西卓、小柳和代、杉ノ内謙三、砂山博子、高崎恭子、太山尊弘、出口一志、中尾都、中西徳彦、長町顕弘、永由美保子、能祖一裕、橋本三起子、秦敏博、廣瀬昌也、福家司、福家徹朗、藤川孝三、藤本悦子、細川典宏、堀重美、松岡洋二、松岡利佳、松本聡司、松野慎介、松原敬子、真鍋千恵、萬好都美恵、三宅順子、山崎直樹、山田大介、吉田史枝、渡辺淳子

昭五六池内久徳、石岡邦章、石丸伊知郎、内田雅仁、太田理、太田孝彰、岡谷史子、亀井英俊、菊池智津、喜多真登美、櫛橋明彦、黒川実、小西英登、小早川龍司、櫻又直美、佐々木晶子、佐藤今日子、清水善明、高橋夕香里、田中裕、田辺育子、寺尾章、中谷誠治、西村仁則、藤田祐、藤本拓資、細井智代、水本恵美子、三松司郎、三宅伸吾、八十八川大輔、山本麻有里、吉鷹秀範、渡邊智子、渡邊浩一郎

昭五七七石濱塚央、石濱美子、井本康裕、岩井孝之、大西久宣、岡内眞一郎、門脇慎人、喜田智幸、河野哲哉、小

島謙治、佐藤いずみ、佐藤みどり、武田悦子、多田幹明、出口理恵、土居享司、豊田英二、西村直子、羽野精一、馬場博史、治多伸介、松原真治、松本寿、松本泰則、丸山武彦、溝内ゆかり、六車直樹、森川麻理、山崎裕子、吉井敏浩、英巨

昭五八荒川裕佳子、荒木重雄、大西弘倫、小野山千津、加藤宏一郎、川井裕美、河西邦浩、日下利男、小竹京子、佐藤扶美子、佐藤久美子、菅真美、鈴木朋子、十河昭宏、十河聖司、田井茂、高木盛子、多田俊昭、谷崎琴、樽谷美香、板東和彦、町田聡、三沢篤志、溝内哲也、三谷英信、三橋理恵子、三野靖、森真理、八木裕史、山本幸則、山本雅子、八十岡清美

昭五九阿倍博信、池田誠、池田知子、稲毛幸一、恵川たまも、北堀礼子、白石哲也、高橋祥子、中筋功雄、中矢和広、蓮井利実、平尾幹子、前田八州彦、丸山明利、村山彰二、山本真裕美、横田由香、大見昌弘
昭六〇石河利広、石田英城、大西研至、大西亨、尾崎努、梶尾裕子、加藤琢二、川上由佳、葉天恵美子、近藤恵美、才市史香、滝口信、多田義孝、中田智博、西尾徹、沼原紀子、蓮井博子、細川典子、増井都乃、三木重昌、森総子、山田晶一、吉田年秀、吉田稔、北條緑

昭六一石川りか、大西晴子、小野正博、加地美智子、片山統祐、上原靖弘、鴨居真理子、川人ひとみ、木村勇夫、艸葉典子、久保蒼一、小見山淳子、酒井佳代、笹井文仁代、武田賢治、多田康臣、田村智子、土居良助、永坂久子、萩池昌信、林秀樹、板東真由美、本多完次、本多英雄、前田圭見、増井佳子、松本弘司、向井恵、村尾仁、八木田佳樹、和田朝子、和田友樹、和田康夫

昭六二安部洋朗、石井理修、石田茂登、伊藤雅久、大西朋子、岡部祐介、川田安都子、川西毅、川西紀子、喜田香代、葛原由起、河野仁治、小林知恵、曾我部豊、竹川忠克、多田孝一郎、谷本浩二、辻正彦、土居晶子、長井雅子、萩池淳子、原茂樹、別宮寛仁、松本智美、松本亜紀、山本佳世子、和田新治

昭六三阿部博、安藤昌吉、飯尾美保、石原美保、入谷誠、岩崎和子、植村崇晴、梅岡達生、小栗直子、柏井雅博、川端桂子、木下品、木村哲彦、葛原真由美、近藤健二、新藤正明、杉本勝利、高木早智子、宝田繁基、竹川由美子、玉木雄一郎、佃英樹、中村悦子、蓮井美奈子、羽田野麻理、林和英、久枝了、増田晋一、松原寛、三崎恵奈、宮脇幸子、村川哲也、八代田英樹、山下久美、山本岐香平、元安部慶吾、伊沢栄子、石丸真弓、井上雅子、井町仁美、入谷知世、大西真見、岡本Gibson有花、折目貴司、日下栄也、佐々木雅張、鈴木順子、高橋陽一、武

田祐司、谷明世、鳥養智子、中尾弘子、中西充、濱崎直哉、早川知子、真鍋未希、森本剛、和田啓生
平二石原加奈子、入谷浩之、小川淳也、小川明子、尾崎敬介、落合由香、河合雄太、川人香織、桐林孝明、十河利樹、千切谷耕一郎、中村聡明、藤尾陽子、増井貴人、溝淵正和、茂中芳佳、森末江美子、山根由依子、山本史郎、渡瀬淑子、田淵薫

平三伊賀彰子、井上靖志、入門美穂、上原直人、右近有花、岡本佐織、小川孝子、乙井美香、香川英俊、河田悦夫、菊島将臣、木村彰宏、佐藤公一、田中誠也、田中育太、田中茂登、筒井雅彦、常谷典生、豊島彩、中田健次、福家良和、増田浩城、三木真由美、三島史子、三野栄作、宮脇修三、村上太、村川祐介、安原正浩、山下雅洋、山下亮、田中和昇

平四伊藤祐子、岩戸真紀、岩部美紀、大須賀礼子、大森安代、小比賀賢、兼近由賀里、鎌田浩志、北泉秀樹、香西育代、小嶋桂、小宮由利江、図子浩基、谷本美香、中野志保、名塚太二、西口潤、幡鈴千景、藤田晋、二神雅史、間島徹、松井久知、三笠善寛、村川和也、山形幸徳、山地貴子、山添佳恵
平五上田香代、大川真史、大西吉之、鎌田多紀、川井俊一、社本真紀、高尾真司、高濱均、中井裕史、西村雅子、藤川愛、村松大輔、森周一、矢田千枝、喜多時乃

平六岩澤幾子、印藤加奈子、岡知美、岡誠、川西章弘、吉川玲雄、小西賢亮、末澤宏哉、土田晶子、豊嶋健史、中井宏二、西稚子、西原千代、長谷川高誠、東島潤、松浦麻矢、松本澄洋、溝淵純子、安田仁、八十川武明、山上佳樹、山口潤、間嶋都世
平七青木聡伸、梅田智子、大谷祐生、岡田里辺香、海部久美子、香川めい、川口悠子、串田えみ、小石正裕、佐々井大介、佐々木美栄子、柴田啓子、杉上景子、富田あかね、林和彦、藤井泰宏、藤田妃佐子、藤本主司、松岡俊郎、松本由佳、真鍋康正、溝淵和則、向井麻央、森西崇、吉本晴樹、淀妙子、渡邊智子、市原武

平八朝倉理映、井関龍太、大橋邦啓、岡野剛士、小川竜司、小川原亮、近藤巨匡、神内圭吾、高田佑基、竹廣敏史、中井隆文、中平淳子、中山信博、藤原慶一、細谷美佳、真鍋敬、八十川明子、山路早苗、尾崎元彦、香西悦子、十河誠、濱元ムツ子、細谷桂子
平九伊藤寛子、太田裕人、大森裕子、川畑里佳、久保田貴文、下地正恵、長谷部文子、濱田康宏、宮本拓嗣

平一〇安藤真之、井川靖夫、石田恭子、岡井有美、鎌田長明、國見卓人、久米一水、厚井久弥、小藤智史、小山賢太郎、篠原綾、高橋聡、高橋早都子、戸阪匡博、豊富

文、中井暢子、中塚健太郎、濱川昌延、堀川昌宏、真鍋量、向井大輔、塩田浩子
平一一大美智敬、小笠原恵、久保太郎、厚井志郎、櫻又英尊、佐藤崇裕、長町篤、森岡真梨、安田哲

平一二池上勝哉、糸瀬ふみ、井上雅世、大澤健二郎、太田貴也、岡田誠一、川口泰代、駒井健二郎、権藤宏美、佐藤碧、杉山和歌菜、谷岡弘邦、中川さや子、長谷川博紀、福井裕介、森田浩之、八十川豊、山本真理子、武田芳美
平一三石原ゆかり、稲毛慶太、印藤直彦、岸下定弘、児山浩崇、笹島幹広、大黒翔太、永井美智子、日詰まいこ、福田香代子、宮城麻友、向井健二郎、八尾祉顕、山崎悠士、吉成信人、淀谷光子、秋山宗徳、上田昇

平一四池内陽一朗、伊藤謙民、漆原慎司、江崎寿人、大熊裕貴、岡田卓巳、権藤智之、佐々木崇徳、神野敬祐、高橋彩子、高濱隆幸、千葉孝、中山且、蓮井誠、藤澤純平、宮本詩子、森正憲、有原増美
平一五明石瑛美子、大林由佳、木村慧、厚井依子、佐伯太朗、多田彩乃、田村勇典、富田諒太郎、林充南、原田芳宏、樋口篤、松浦毅士、松家絵美、森田康之、横谷慶子、吉岡陽子
平一六阿部匡展、入船利彦、岩本康平、葛西優、高橋航大、富田昌平、中辻早希子、橋本義規、藤田洋志、松岡正之、山ノ井基広、津川沙織、坂東真、平井アヤ子

平一七大林真弓、苅坂佳、尾島三千代、桂嘉宏、木村圭一、佐藤雅之、柴田郁、長谷川博之、福井雅一、堀川知紀、松岡加奈子、宮本崇平、村尾圭介、和田圭伊子、池内二治
平一八伊賀万希子、上春美奈、川田恵美、楠瀬達也、久保友次郎、久保圭一、小林俊博、笹島正豊、白井雄喜、田窪朋広、多田敦雄、田中均樹、富田洋輔、中川佳洋、中山由実、西山由理花、藤沢豊代、前田詠理、三日月佑梨、溝淵泰隆、宮崎沙月、元山美希、山田佳奈

平一九井阪雅仁、井上宏亮、植松慎一郎、大林永実、岡本裕子、絹笠沙耶香、中条匡臣、土岐芳寛、永峰優一、蓮井あゆみ、馬場翔太郎、原田康平、藤澤範子、藤澤友輝、藤本達也、前田雅美、植塚英治、松本美都、矢野翔也、渡邊大祐
平二〇朝倉健太、大谷和弘、岡田大輝、苅坂枝織、川原一晃、香西真道、小早川達彦、佐藤万里奈、佐藤悠奈、関元由紀、田川良和、多田野有里絵、田中里沙、谷美里、西牧正博、平野裕太郎、吉田勇人、和田学政、尾崎友合子

平二一青木仁美、安岐智晴、池西大起、植松建太、門田

浩史、岡岡伸崇、多田晋、津村和輝、土岐宥美子、中川裕貴、中村清太郎、馬場真理子、宮本瑠子、元山佳奈、山下泰啓

平二二青木建樹、小原和花、鎌倉瑞基、木村智美、小早川博美、櫻又由伽子、佐藤哲人、塩入愛美、品川遼太、末澤志乃、多田野絵璃、谷勇輝、戸嶋圭、八村良祐、平野旺周、廣瀬友基、藤澤智子、藤本卓也、増島祥、宮崎翔平、森光太郎、山田佳明、横井茉莉、横山康平、吉原佳、池添治、松川万須美

平二三植田貴久、大出小夜子、大原壮一、大森真理、岡内啓悟、岡田直之、尾端樹、甲康平、川西真明、北山真夕子、楠瀬智己、香西健太郎、佐藤伊純、高橋寛、多田有輝子、長谷川力、堀川恭佑、港孔太、森下量平、矢野雄也、山野上舞、山本華以、吉田沙織、渡邊二朗、渡邊修也

平二四伊賀健人、岩間弓奈、岡奈々恵、河田祐太郎、佐伯茉奈美、齊藤恭宏、佐藤夏実、佐藤うらら、堀井祥子、末澤佑樹、関侑華、高橋萌音、辻曉里、出水遼太郎、坂東秀人、藤本みち、細谷泰祐、堀光毅、松岡良恵、吉田満利恵、和田彩花

平二五青木耀大、穴吹隆人、石濱佐和子、岡田あずさ、桑城亜裕子、小出英南子、品川真穂、橋英里奈、谷村一成、平野晴、廣瀬元基、前田喬広、松岡明恵、三宅真希、森田夏帆、山野上実希

平二六相場佑莉、安藤さおり、石丸弘之、宇佐見天慧、朝慶太、岡祐一朗、亀井裕平、喜田壮士郎、北山由紀乃、河野雅子、出水佑二郎、徳武直、三日月咲紀、三原大典、美馬章宏、三宅遥

平二七大谷勇樹、大出洗起、亀井皓平、佐藤聡太、品川香穂、谷和樹、中條尚哉、原田智行、板東里佳、藤澤昂太、藤田真由、三宅和岳、森優美香、山本麻由、吉田真優、藤澤良太、吉野千秋

平二八池田奈々子、石濱加彌子、太巻侑香、朝眞澄、大谷萌絵、大西智、岡崎律道、奥田喬一、尾端輔、勝部柚香、川瀬季広、久保一毅、隈川顕、河野詢平、坂本亮、彈正原昌也、土田杏奈、遠山英明、中西凌河、梁木太地、福井雅也、藤原拓末、松岡秀悟、溝口弘也、森井嘉穂、山崎満里加、山中章弘、山中陵弘、吉峰広貴、渡邊蘭、窪田友哉

平二九麻田恭大、安藤桃子、飯千尋、石丸真子、植田将暉、大平采也加、葛西大淨、川西祐毅、喜田よつ葉、北川侑樹、木下純一、葛原寛子、久米瑞樹、小塚愛理、小山拓朗、小山結子、佐藤健斗、佐藤光起、苑田千央、多田真理子、田中紗弥加、出口和希、野田敬統、瀨田有希、

林利穂、三宅沙弥、宮崎朋子、茂中航、柳澤智心、山下佳乃、横井涼亮、吉田夏穂、渡辺由洋

平三〇浅原悠希、芦田一真、石川凌大、岩出大輔、大内隆誠、大西泰生、岡内紀翔、岡本健史、菊井拓斗、隈川怜、四宮啓公、白鳥飛雄馬、高木直哉、高木悠歩、瀧川圭太、竹内まり子、玉木献人、太山賀珠人、十枝航太、中井理斗、中西三春、中村仁、西宮和寛、平尾悠里子、増澤武弘、真鍋里菜、三澤一織、山崎裕里加、渡邊沙羽、權日豊美、牧井幸一

平三一青木章真、青野光起、伊澤利果子、石田公平、大内もも、大谷綾、大平知征、川田龍輔、木口瑞穂、小谷茂々笑、小山絢子、近藤大翔、坂口栞大、佐藤綾香、砂崎慎之介、千切谷将一朗、千葉勇渡、土田悠介、坪川龍聖、土居孝高、連井祐樹、連井裕貴、平田一聖、堀場千裕、増田麻夢、松浦彪、松野なな、三宅奈都、吉田美穂、余島彩華、稲月新、河合明光

令 二青木貴哉、板倉直輝、井上さくら、大西晴日、岡内菜穂、岡野未千佳、小川賢太郎、小川陽生、小椋陽日季、小笹鮎、小原拓登、門田光輝、金藤智由希、兼光佑輔、菊山千夏、川田大登、川西耕輔、川端敦仁、菊井奏依、河野華子、迫野玲、澤田杏華、志原那歩、末澤徹大、錢谷碧人、高橋快斗、田辺歩夢、濱龍正、原岡千紘、廣瀬彩夏、藤井香乃、細井心平、松岡太一、松澤巧貴、松下成美、松本透子、水野琳太郎、美馬由布子、三宅優子、向原駿成、毛利公郎、森田愛望、藪内結海、山下倫宏、世依駿、岩橋静公

令 三楊悠、足立陽菜、安藤恵利花、石川裕大、石原志朗、井手下凜音、植田詩穂、及川晃、岡野周真、奥条真那、苧坂航汰、小野達生、小原悠華、片岡海都、鎌田元氣、萱原信之助、木村彰人、玖村春香、久利夏未、河野純平、小山絵子、近藤優衣、齋藤凜、貞廣駿介、佐藤浩太郎、須藤真緒、滝野智也、田中仁、谷久智哉、椿原響、坪川駿祐、中西明、西原なすな、西山瑠見菜、野角咲菜、濱谷健太、濱谷俊輔、星川ひかる、星野心咲、真鍋伊吹、三木真菜、三谷知蔵、宮武桜子、宮脇彩華、村上光、村上稜真、山北七夕、山本悠仁、幸岬希、渡邊柊、川崎竜輝、齋藤励

令和二年度会費 追加納入者 (令和三年五月一日以降入金)

旧職員

安部勝雄

晩翠

昭一九岡坂晴子

昭二〇(4) 元山美都子

昭二二鳥飼敦子

高

昭二九福家知子

昭三〇辻信子、富野節子

昭三三井上榮

昭三七岡本房子、苧坂泰子、古澤恵紹

昭三九石川恭子

昭四二古米俊雄

昭四三小西久典

昭四四湯浅葉子

昭四五大嶋正司、坂本博子

昭四七松山哲也

昭五三渡辺裕之

昭六三大西一央

平 元岡本 Catherine 有花

平 三森貞志、森布季

平 二杉山和歌菜

平 一六高塚明、橋本義規

平 一八高塚光太郎、中川佳洋

平 二三森下量平

平 三〇六車凌、渡邊沙羽

平 三一木口瑞穂、宮本凜

令 二毛利公郎

事務局からのお知らせ

毎年の会費納入ありがとうございます

半年に一度の報告として（10月初旬と1月初旬）、会費納入者一覧をホームページに掲載しています。ご自身で当年度の会費を納入されたかどうかをご確認することができます。ホームページトップ画面右下の、「会報ダウンロード」バナーよりお入りください。

【今年度のパスワードは 1277 です】

また、会員名簿については、H25年の発行を最後に（個人情報の保護を重視し）今後は発行しません。学年での同窓会の案内など住所の打ち出し等が必要な場合は、内規により該当卒年の代議員全員の連名の申請（要署名捺印）を頂けましたら、非電子データ（宛名シールなど）にてお渡しします。

詳しくは代議員様より事務局にお問合せください。

玉翠会費の納入方法は以下の5種類

同窓会活動を支える財源は、その殆どが卒業生より納めていただいている会費で運営されています。

近年の少子化による生徒数の減少で同窓会の財源も厳しい状況におかれています。会報発行や在校生への奨学金制度・教育活動補助など玉翠会運営維持のため、是非多くの方々に玉翠会費納入のご協力をお願いします。

1. 預金口座から自動振替

次頁をご参照ください。

2. 郵便局からお振込

同封、もしくは郵便局の払込用紙にてお振込できます。

3. コンビニ（またはスマホ決済）からお振込

会報を郵送でお受け取りの方のみ同封の振込用紙にてご利用できます。

4. クレジットカード決済（PayPal）にてお支払い

玉翠会のホームページをご参照ください。

5. その他金融口座からお振込

ゆうちょダイレクトの電信振替でゆうちょ銀行口座へ送金、また他の金融機関からも下記の口座へお振込が行えます。振込手数料は各自ご負担願います。

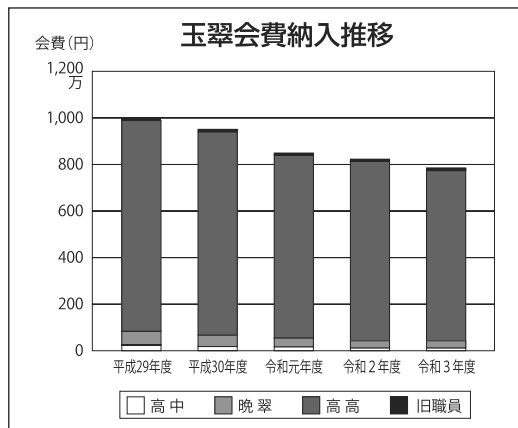
入金処理の際は、必ず6桁の会員番号を振込人氏名の前に打電してください。納入者を特定出来ない場合は「納入者不明」としてご入金させていただきます。

例) 123456タカマツタロウ

口座名義：香川県立高松高等学校玉翠会

口座番号：ゆうちょ銀行 一六九（イチロクキユウ）店（169）当座 0031115

百十四銀行 本店 普通 0078326



詳しくはこちら： 玉翠会ホームページ「年会費納入のお願い」

<https://gyokusui.org/kaihi>



会費のお支払いに 口座自動振替がご利用できるようになりました

玉翠会員の皆様の指定預金口座から、毎年自動で会費がお振替出来るようになりました。
窓口やコンビニに出向くことなく、また、お振込忘れも防ぐことができます。

振替日 **9月27日（銀行等、金融機関休業日の場合は翌営業日）**

《《 お申込みまでの流れ 》》

STEP 1 「預金口座振替依頼書」を玉翠会ホームページからダウンロードし印刷します。
↓
白黒でもカラーでも構いません。
また、玉翠会事務局にご連絡いただければご送付させていただきます。

STEP 2 黒のボールペンで、太枠内をもれなくご記入、ご捺印します。
↓

STEP 3 「預金口座振替依頼書」を高松高等学校玉翠会事務局までご送付ください。
【あて先】 〒760-0017
香川県高松市番町三丁目 1 番 1 号
香川県立高松高等学校玉翠会事務局 宛

【ご記入にあたっての注意事項】

1. 押印は金融機関届出印をお願いいたします。不鮮明の場合は再提出をお願いする場合がございますので、ご注意ください。
2. 預金者名はフリガナも必ずご記入ください。
3. お引落し額をご記入ください。（会費は一口2,000円からとなっております）
4. ご記入いただいた預金口座振替依頼書はコピーをとり、控えとしてご自身にて大切に保管ください。
5. ご登録完了のご連絡はございません。書類に不備がなければ、8月5日（事務局着）までにご依頼の方は当年度の会費より、それ以降にご依頼された方は次年度の会費より自動お振替開始になります。
6. 通帳摘要欄には、「ギョクスイカイヒ」と印字されます。なお、一部金融機関では「ワイドネット」（ゆうちょ銀行）または「ミツビシUFJファクター」と印字されます。